

利用の手引き

令和6(2024)年度版



公益財団法人広島市文化財団
青少年野外活動センター
こ ど も 村



きっと 自然派

もっと 自然派

生活信条

来たときよりも美しく

- ☆ 規則を守ろう。
- ☆ エチケットを大切にしよう。
- ☆ 明るいあいさつをかわそう。
- ☆ 後始末をきちんとしよう。
- ☆ 助け合って活動しよう。



はじめに

広島市青少年野外活動センター・広島市こども村は、次世代を担う青少年を健やかに伸ばし、夢をはぐくみ、情操豊かな子どもたちの成長に寄与する場として、自然に恵まれた牛頭山の麓（ふもと）に建設されました。

ここでの自主的な共同生活や自然の中での様々な活動は、青少年の人間形成にとって重要な意味を持っています。

そこで、当施設では、家庭や学校では得がたい体験の場を提供することにより、次に掲げる目標の達成に努めています。

目 標



- 1 自然に親しみ、触れあうことの喜びを味わう。
- 2 集団生活を通して、規律、責任、協力の大切さを体験する。
- 3 深く自分を知り、仲間との生活の喜びや友の良さを見いだす場とする。
- 4 生活を豊かにする技能を身に付け、困難な状況や環境の変化に対応できる心を養う。
- 5 新しい経験と創意・工夫の機会を通して、創造力を培う。

もくじ

はじめに・目標
交 通 案 内 図
施 設 案 内 図

I 利用申込みについて

1 利用について・料金表	1
2 申込みから利用までの流れ	2
3 提出書類・打ち合わせについて	3

II 施設の利用について

1 生活時間	4
2 宿泊棟での生活（宿泊室・暖房・シーツ・浴室・食堂について）	5、6、7
3 ロッジでの生活	8
4 テントでの生活	9、10
5 キャンプフリーサイトの利用	11
6 炊飯場の利用	12、13
7 バーベキューサイトの利用	14
8 ファイヤー場の利用	15
9 研修室の利用	16
10 体育館の利用	17
11 ごみの処理について	18
12 物品の貸出しについて	19
13 準備物について	20
14 当施設敷地内に生息・出没する危険な生物（ハビ・ハチ・クマ・ムカデ・マダニ）	21、22、23
15 急病、けが、事故発生時の連絡について（近隣病院位置図）	24
16 その他利用上の注意等	25

III 当施設でできる活動について

1 活動内容について	26
2 施設概要	27、28

【資料】

○ 提出書類記入例	29、30、31、32、33
○ 研修棟及び工作館見取図	34
○ 宿泊棟及び食堂見取図	35
○ メインロッジ（ML）・西川ロッジ（NL）・第3キャンプ場ロッジ（3CL）見取図	36
○ 体育館見取図	37
○ 食堂座席配置図	38
○ 各炊飯場見取図（1C炊、2C炊、3C炊、中炊）	39
○ キャンプ場テント、ファイヤー場配置図	40

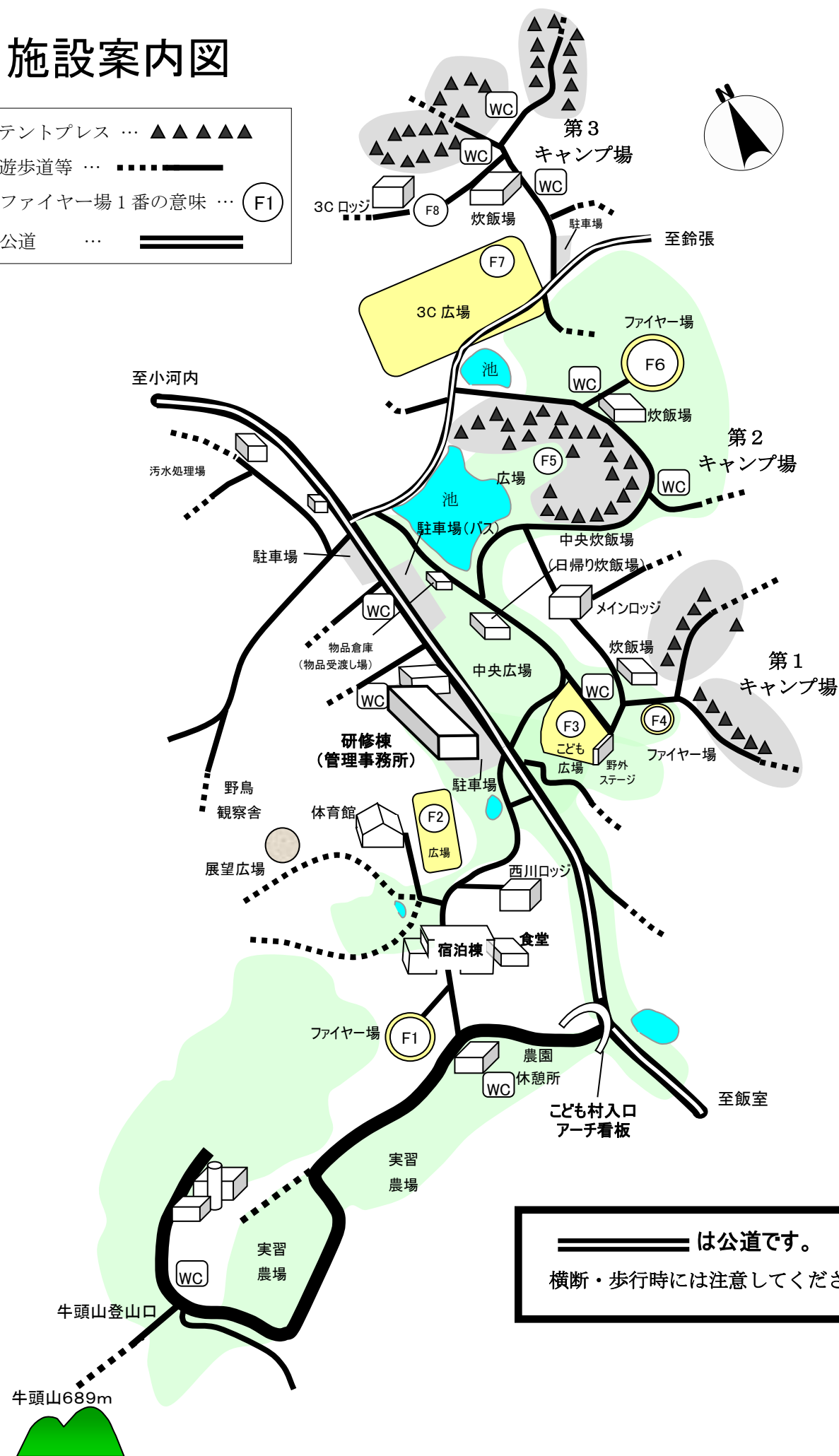
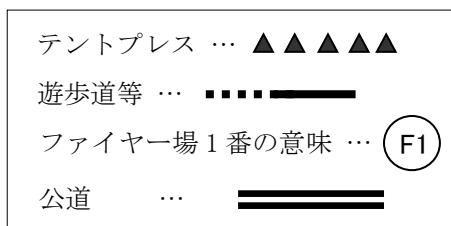
所在地
 広島市安佐北区安佐町小河内5 1 3 5
 TEL 082 (835) 1444
 FAX 082 (835) 1445

FAX 082 (835) 1445



【車での所要時間】 ■市内中心部から約70分 ■広島北 I.C. から約15分

施設案内図



＝は公道です。
横断・歩行時には注意してください。

I 利用申込みについて

1 利用について ※定員等は基本的な人数です。詳しくは当施設のホームページで確かめてください。

利用できる団体	① 宿泊棟・キャンプ場・ロッジともに、宿泊はそれぞれ原則として3人以上から受け付けます。 ※キャンプフリーサイトについては、1人から利用できます。 ② 次の場合は利用できません。 ・成人引率者のいない児童・生徒(小・中・高校生等)のみの宿泊 ・営利、政治、宗教(布教)目的の活動や、管理上支障があると判断される場合 ・ペット同伴の場合		
受入方針	① 青少年野外活動センター・こども村(以下「当施設」と言います)が行う主催事業を優先します。 ② 児童・生徒(小・中・高校生等)の学校野外活動、集団宿泊訓練を優先します。 ③ 部屋割り、利用場所は当施設で調整します。 ④ 日帰りでの利用も受け付けています。(次頁参照)		
休所日	毎週月曜日、祝日の翌日、8月6日、12月29日 ～ 1月3日 (繁忙期は、臨時開所することがあります。)		
施設概要 (P 2 5 参 照)	宿泊施設	宿泊A棟(208人)、宿泊B棟(72人)、うしずの間(12人) 西川ロッジ(20人)、メインロッジ(14人)、第3キャンプ場ロッジ(10人) 第1キャンプ場(144人)、第2キャンプ場(300人)、第3キャンプ場(300人) キャンプフリーサイト(持ち込みテント 最大10張 ※指定された利用日のみ利用可)	
※定員については、状況により 変更することがあります。	その他	研修室(7室)、広場、体育館、炊飯場、バーベキューフリーサイト、食堂、浴室、実習農場、無料駐車場(大型バス16台、普通車50台)等 ※ 宿泊棟、西川ロッジに宿泊の場合、8人以上であれば浴室と食堂が利用できます。 (他ロッジ宿泊者はロッジ内のシャワーをご利用ください。8人以上で食堂が利用できます。) ※ キャンプ場に宿泊の場合は、浴室と食堂の利用はできません。 ※ その他の利用条件については、お問い合わせください。	

宿泊料金 (1泊)	区 分		宿泊棟・ロッジ		キャンプ場・キャンプフリーサイト
			宿泊費	暖房費 (11月～3月)	4月～9月のみ宿泊可 (※キャンプフリーサイトは指定された日)
	青少年団体等	小人	410円	210円	220円
		大人	850円	210円	470円
	青少年団体等以外	小人	650円	210円	220円
		大人	1, 330円	210円	470円
★ 小人とは、小学生～高校生まで。(またはそれに該当する年齢の人) ★ 青少年団体とは30歳以下の方が過半数を占める団体のことです。 ※ 暖房の使用は、原則11月から3月となります。暖房を入れた場合に暖房費がかかります。 (広島市立の小・中学校の野外活動については、暖房費を免除します。) ※ 小学生未満の宿泊費は、無料です。 ※ 障害をお持ちの人や65歳以上の人には減免の措置があります。 ※ 団体の区分や減免についての詳しいことは、お問い合わせください。					

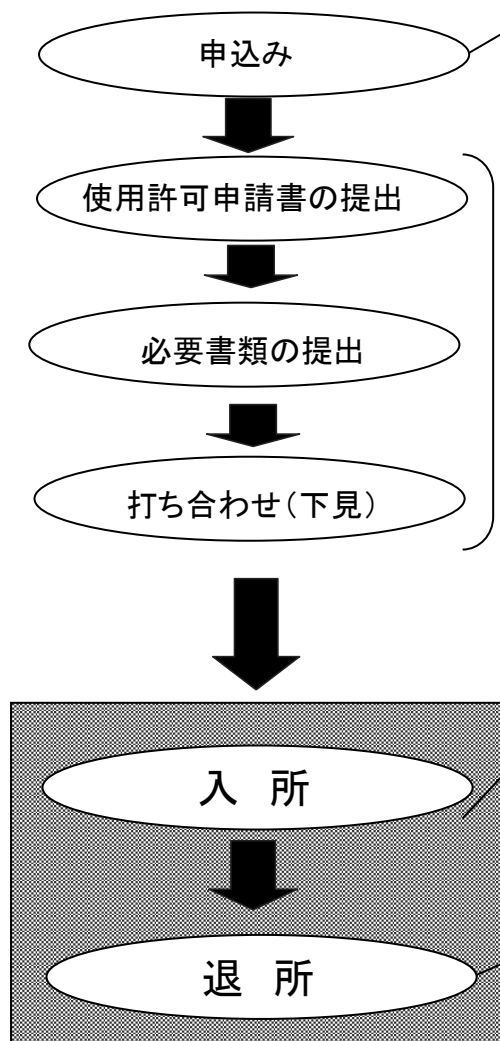
食事料金	区 分		朝 食	昼 食	夕 食
	料 金(令和5年4月1日より)		500円	630円	700円
	※食堂は、宿泊日の夕食(8人以上)から利用できます。(入所日の昼食は、利用できません。) ※キャンプ場・キャンプフリーサイトに宿泊の場合は、食堂は利用できません。 ※各食(朝・昼・夕)とも、弁当(10人以上)注文が可能です。 ※野外炊飯メニュー等については、当施設のホームページを参照してください。				

その他料金	炊飯、火おこし	台木(1本)	まき(1束)	灯油(1ℓ)	火おこしセット(1式)
	ファイヤー	400円	400円	100円	210円
	各種クラフト	竹はし 竹とんぼ ブンブンごま	紙ひこうき 組み合わせパズル	たたき染め ウッドペンダント	焼き杉 (※薪代別途) 小枝クラフト
		40円	50円	60円	100円
※ 白黒のコピー・印刷ができます。(有料:コピーは1枚15円、印刷は製版1回30円+用紙A4とB4は1枚2円、A3は1枚4円、用紙持込の場合は1枚0. 5円) ※ 研修室、炊飯場、体育館等の利用料は無料です。					

※ 当施設は、広島市の『指定緊急避難場所』に指定されていますので、状況によっては活動内容や活動場所の変更をお願いする 場合もあります。

2 申込みから利用までの流れ

(1) 宿泊利用の場合



申込みについて

「青少年団体等(含む:幼稚園)」は利用日の9か月前の月初めから1か月前までに、「青少年団体等以外」は利用日の6か月前(利用期間が11月1日から翌年3月31日までの期間内のものにあつては、利用開始の9か月前)の月初めから1か月前までに、電話か来所による申し込みを行ってください。(宿泊を伴う他の団体がいても、利用場所の調整を必要としない場合は、2週間前まで受け付けます。)

※ 受付時間 8:30~17:15

例：8月20日に利用したい場合の予約は
11月1日~7月20日まで(青少年団体等の場合)
詳しくは、お問い合わせください。

※キャンプフリーサイトの申し込みは4月1日から随時受け付けています。

入所時【遅くとも21:00までに入所】

- ・ 事務室で受付
(宿泊者名簿・減免申請書・宿泊利用前確認票及び名簿の提出、チェックシート・炊飯場片付け確認表等の受取)
- ・ 活動プログラムの確認

退所時【16:00までに退所】

- ・ 宿泊費等の清算(9:00~11:00までに事務室で)
- ・ チェックシート・炊飯場片付け確認表の提出
- ・ 貸出物品の返却
- ・ 食事の清算
※食事料金については最終の食事後までに、食堂で精算してください(振り込みの場合を除く)。

(2) 日帰り利用の場合

○ 申込みについて

- ・ 電話か来所によりお申し込みください。
- ・ 農業体験、中央炊飯場利用の場合は、利用日の6か月前の月初めから先着順で受け付けます。
- ・ バーベキューサイトについては、4月1日から随時、申し込みを受け付けています。空いている場合、当日でも受付できます。
- ・ その他の施設については、宿泊団体による利用がなく、空いている場合は利用できます(体育館も利用できます)。
- ・ 受付は、利用日の概(おおむ)ね1か月前(宿泊団体の利用場所の調整が完了した後)から行います。
- ・ 登山、ディスクゴルフ、カプラ、モルック、ウオークラリー、オリエンテーリング、グリーンウオーク、ミニトレッキングは、空いている場合、当日でも受け付けます。

○ 提出書類について

- ・ 次頁の①②は必ず提出してください。また、食堂弁当の注文(注:食堂は利用できません)や物品の貸出し、まき等の購入希望、農業体験等の活動によっては、④⑤⑥も必要に応じて提出してください。

○ 活動について

- ・ 9:00~16:00の間で活動してください。

○ 利用料について

- ・ 施設の利用料は、無料です。
- ・ まき等の購入代金は、使用数量が確定次第、早めに事務室へお支払ください。

3 提出書類・打ち合わせについて

(1) 提出書類について（※記入方法については、29ページ以降【資料】をご覧ください。）

利用予約後、下記の書類を提出してください。（⑦以外はFAX可）

①使用許可申請書	利用予約後、 1週間以内 (学校野外活動は、利用日1か月前まで)	①～②は必ず提出
②活動計画表	利用日の遅くとも 1か月前まで に	
③宿泊者名簿	利用日当日 ※ 学校野外活動は、「しおり」(名簿入り・・・子どもの名前及び引率者の名前・年齢が載っているもの)で代用できます。また、団体独自の様式を使用する場合は、団体名、宿泊者の名前、年齢を記入したものを提出してください。 ※ 宿泊者が日本国内に住所を有していない外国人であるときは、旅券(パスポート)を受付時にご提示ください。	③～⑥は必要な場合のみ提出
④食事申込書	利用日の遅くとも 1か月前まで に ※アレルギー対応が必要な場合は、できるだけ早い提出をお願いします。	
⑤物品貸出票	利用日の遅くとも 1か月前まで に	
⑥活動申込書	利用日の遅くとも 1か月前まで に	
⑦減免許可申請書	利用日当日	⑦～⑧は該当する場合に提出 ※用紙は、下見等の際に事前にお渡しできます。
⑧減免申請者名簿	利用日当日 ※ 障害者の減免を申請する場合は、手帳の種類・番号等の記入が必要となります。 ※ 65歳以上の減免を申請する場合は、生年月日のわかる公的証明書の確認が必要となりますので入所受付時にご提示ください。	

(2) 打ち合わせについて

利用日のおよそ1か月前までに来所し、当施設職員と打ち合わせをしてください。

- (目的)
- ・ 指導者または団体責任者に当施設のことを十分に理解していただくため。
 - ・ 他団体の利用状況に応じた、効果的で円滑な活動にいただくため。

- (時期) 利用日の1か月前までで、休所日及び当施設主催事業の日以外の9:00～16:00(できる限り15:30までに当施設へご到着ください)。
(職員が、下見打ち合わせの予約が多い場合や利用団体の対応の予定がある場合は、他の日に変更をお願いすることがあります。)

- (内容)
- ・ 利用目的の相互共有
 - ・ 活動プログラムの相談
 - ・ 利用方法、安全上の留意点の確認等

(予約) 打ち合わせ日時を、事前に電話で予約してください。

(3) 利用場所の確定について

利用場所は、上記の書類を提出いただき、下見打ち合わせや他団体との利用調整を踏まえて確定します。調整結果は、確定次第に連絡させていただきます。

Ⅱ 施設の利用について

1 生活時間

夏時間(4月～9月)

時刻	内 容
♪ 6:00	
	起床、洗面、身辺整理 朝のつどい、清掃など
7:30	
	朝 食(7:30～8:30)
♪ 8:30	
	午前の活動
♪ 12:00	
	昼 食(12:00～13:00)
♪ 13:00	
	午後の活動
♪ 17:00	
	夕 食(17:00～18:30)
18:30	
	入 浴(17:00～21:30) 夜の活動(～21:30)
21:30	
	就寝準備
22:30	
	消灯・就寝

冬時間(10月～3月)

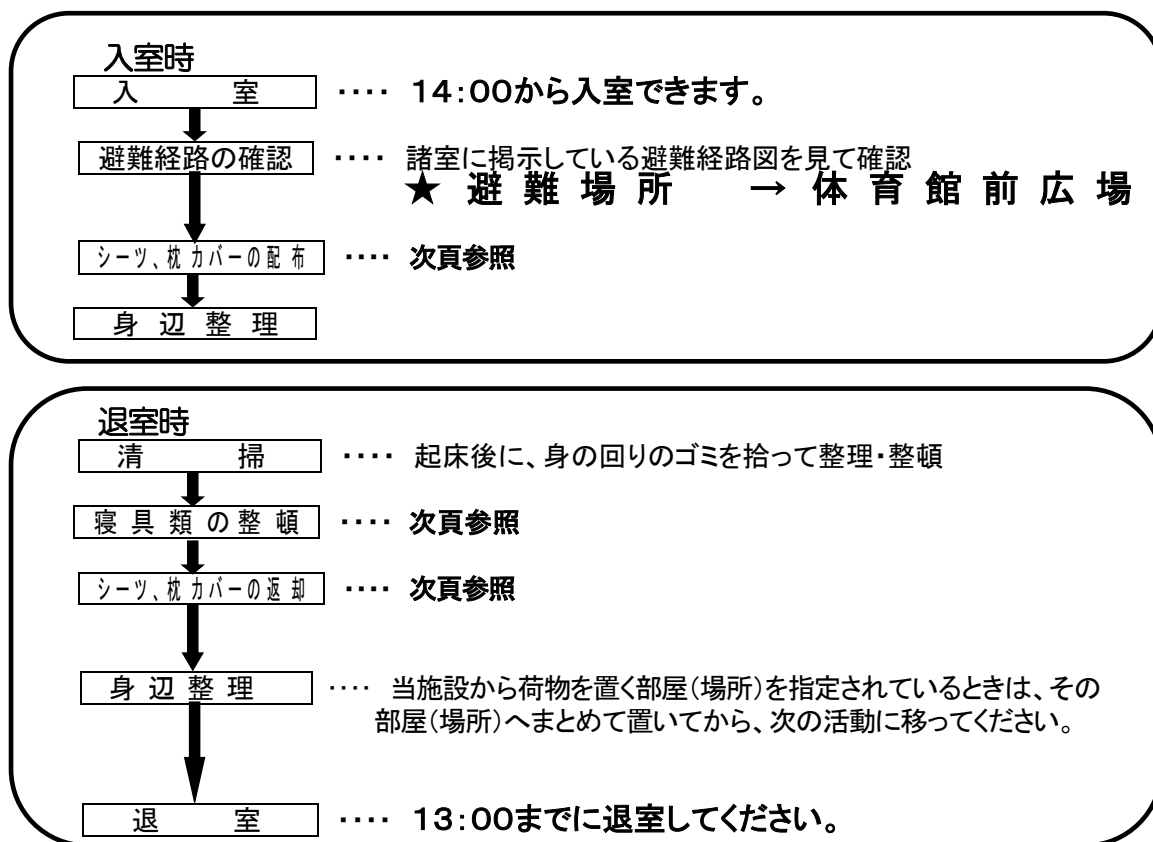
時刻	内 容
♪ 6:30	
	起床、洗面、身辺整理 朝のつどい、清掃など
7:30	
	朝 食(7:30～8:30)
♪ 8:30	
	午前の活動
♪ 12:00	
	昼 食(12:00～13:00)
♪ 13:00	
	午後の活動
♪ 17:00	
	夕 食(17:00～18:30)
18:30	
	夜の活動
20:00	
	入 浴(20:00～22:00) 夜の活動(～21:30)
21:30	
22:00	就寝準備
22:30	
	消灯・就寝

- ① ♪は、チャイムが鳴る時刻です。
- ② 上記の生活時間の中で計画してください。
- ③ 食堂利用と入浴は、上表の時間帯内で計画してください。
- ④ 入室時刻は、14:00からです。(宿泊棟・ロッジ・テント共通)
- ⑤ 退室時刻は、13:00までです。(宿泊棟・ロッジ・テント共通)
- ⑥ 日帰りの場合は、9:00～16:00の間でご利用ください。

2 宿泊棟での生活

◇ 利用期間: 通年

(1) 宿泊室の利用について 宿泊室は、次の手順により利用してください。



注意事項

- ・ 二段ベッドの上り下りには、特に注意してください。
- ・ 部屋では、さわがないようにしてください。
- ・ ベッドやはしごは、動かさないでください。
- ・ 危険ですから、窓から身を乗り出さないようにしてください。
- ・ **宿泊室内での飲食及び喫煙は、厳禁です。**
- ・ 部屋(宿泊室、研修室等)やトイレ、洗面所から出る時には、照明を消してください。
- ・ 緊急時などに当施設職員等が部屋に入ることがありますのでご了承ください。
- ・ 宿泊室の中でコンセントの差込口がある部屋もありますが、原則、コンセントは使用しないでください。部屋の電気容量の関係で、使用内容によっては宿泊棟のブレーカーが遮断する恐れがあります。

(2) 暖房について

- ・ 11月から3月を目安に暖房を入れます。その場合は、暖房費(210円/人)をいただきます。
- ・ **22:30以降**は暖房を切ります。A棟の暖房器具(ファンコイル)は、冷たい風しか出ませんので、就寝前に必ず送風スイッチを切ってください。夜間及び早朝の冷え込みの対策として、利用者各自の防寒対策をしてください。
- ・ B棟の暖房器具(石油温風ヒーター)は、利用者の方が直接操作してください。
- ・ 暖房器具操作のため、当施設職員もしくは委託業者が入室することがありますのでご了承ください。

(3) シーツ・枕カバー・寝具について

- ① 貸出場所 宿泊棟→A棟2階リネン室(P35参照)
 ロッジに宿泊する場合 → 各ロッジ内玄関
 (テントに宿泊する場合、シーツはありません)
- ② 返却場所 貸出場所と同じ場所に、退所日の朝8:30までに返却してください。
 返却するときは、20枚ずつ交互に重ねてください。
- ③ 貸出枚数 一人あたり、枕(まくら)カバー1枚、シーツ2枚(掛け布団用、敷き布団用各1枚)です。
- ④ 寝具について 下図を参考に使用し、使用後は丁寧にたたんでください。

※ 寝具を汚した場合は、

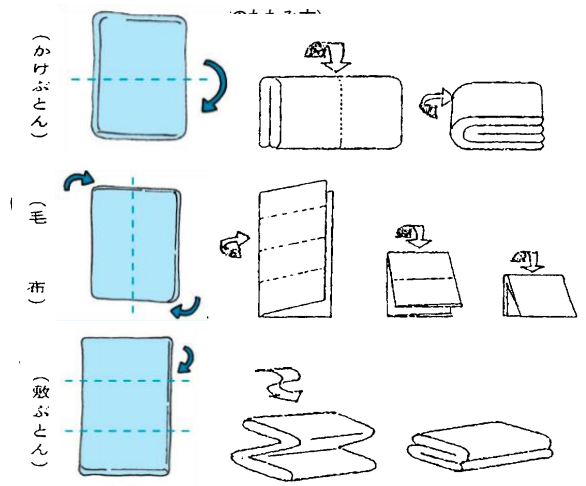
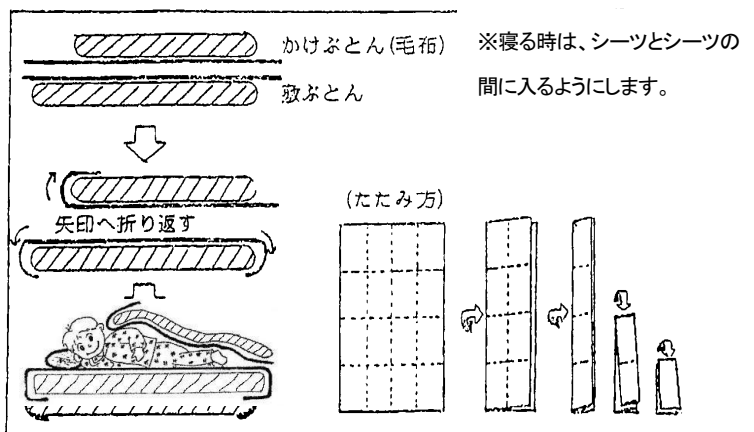
○その旨を事務室にご連絡いただき、リネン室へは、他の寝具とは区別して返却してください。

○その際に、リネン室にある「所定の用紙」に記入していただき、汚れた寝具の上に置いてください。

※ 掛け布団(白いカバーつき)、敷き布団(カバーなし)、毛布(概ね「10月中旬～6月中旬」)

■ シーツ・布団・毛布のたたみ方

(シーツの使い方・たたみ方)



■ 布団の置き方

布団は、はしごのかかっていない方に寄せて置く。

はしごのある方から見て布団の端が見えないようにたたむ。



(右側にはしごがかかっているところ)



(左側にはしごがかかっているところ)

(4) 浴室の利用について

- ① 利用時間 決められた時間内に済ませてください。
- | |
|---------------------|
| 4月～9月は 17:00～21:30 |
| 10月～3月は 20:00～22:00 |
- ② 人数 男女最大50人ずつ入ることが可能です。
- ③ 必要な物 足ふきマット、タオル、石けん・シャンプーなどは、個人または団体で用意してください。
- ④ 時間調整 当施設の担当職員が利用調整時に入浴時間帯を指定します。決められた利用時間は厳守してください。
- ⑤ 整理整頓 利用後は洗面器、腰掛け等を元の位置に戻し、引率者が最終確認をしてください。
その他、入浴のマナー(汚さない・さわがない・独占しない)を守ってください。

※ ドライヤーは、各脱衣場で1台のみ使用可能です(ドライヤーは、各団体でご用意ください。)

※ ロッジ利用者(西川ロッジを除く)はロッジ内のシャワーを利用してください。宿泊棟の浴室は利用できません。

※ キャンプ場利用者は、入浴できません(宿泊棟の浴室もロッジのシャワーも利用できません。)

※ シャワーをご利用の際は、火傷に注意し、水の温度を確認してからご利用ください

(5) 食堂の利用について

- ① 利用方法 予約制、セルフサービスです。8人以上の団体で利用可。
- ② 利用時間 宿泊日の夕食から利用できます。
決められた時間内に済ませてください。
- | | |
|----|-------------|
| 朝食 | 7:30～ 8:30 |
| 昼食 | 12:00～13:00 |
| 夕食 | 17:00～18:30 |
- ③ 座席数 300席(P38参照)
- ④ 予約方法 所定の申込用紙(P31を参照)を、遅くとも利用日の1か月前までに当施設へ提出してください。
- ⑤ 予約の変更 食数の変更等は、ご利用3日前(土日祝除く)の正午までに直接食堂業者(グルメサービス)にご連絡ください。

- ⑥ 食堂業者 東洋観光(株)グルメサービス
TEL(082)234-3456(受付:月～金 9:00～17:00)
FAX(082)292-0010

※ 上記の食堂業者がアレルギー対応、各種弁当、キャンプ食材などを含めて、ご注文やご要望等を承ります。詳しくは、直接、上記の食堂業者にお問い合わせください。

- ⑦ 片付け 使用後は、食堂に掲示している片付け方法(テーブル拭きや除菌等)に従い行ってください。
引率者は、整理・整頓ができているかを、最後に確認してください。

※ 食堂利用時のみ給湯器が利用できます(水筒へ補充するための「お茶の葉」は各団体でご用意ください。)

※ キャンプ場利用者は、食堂の利用はできません(お弁当の注文はできます。)

また、お弁当を注文し、食堂を利用することはできません。

※ 弁当は、10個以上で受け付けます。

(6) その他

- ① 避難経路確認 入室後、まず避難経路、災害時集合場所、保健室をご確認ください。
- ② 宿泊棟の施錠 利用者の安全を守るため、22:30に施錠します。それ以降の出入りはご遠慮ください。
- ③ 保健室の利用 宿泊棟・研修棟の保健室を利用する場合は、事務室にご連絡ください。

3 ロッジでの生活

当施設には、3つのロッジがあります。

① 西川ロッジ〔NL〕 ② メインロッジ〔ML〕 ③ 第3 キャンプ場ロッジ〔3 CL〕

- ・各ロッジの利用は、宿泊利用人数3人から受け付けます。
- ・宿泊方法は「宿泊棟での生活」に準じていますが、各ロッジで利用条件が違います。食堂利用や浴室利用についてはご注意ください。
- ・各ロッジの鍵(かぎ)は、団体責任者が入所時に事務室で受け取ってください。利用後は速やかに事務室へご返却ください。
- ・すべてのロッジが、「1団体貸切り」になります。複数の団体が1つのロッジに入ることはありません。
- ・ゴミについては、P18「ゴミの処理について」に従って処理してください。
- ・各ロッジでは自炊が可能で、炊事室にコンロ・冷蔵庫があります。ただし、鍋(なべ)や食器などの自炊道具は備えていませんので、必要な場合は各団体で用意されるか、当施設の貸出物品(P12「(3)炊飯用具の貸出しについて」参照)をお申し込みください。
- ・火気の取り扱い、後始末は厳重に管理してください。
- ・利用後は整理・整頓し、清掃を行ってください。
- ・西川ロッジにのみ、各室にエアコンが設置されています。
- ・冬期は、宿泊費とは別に暖房費がかかります。
- ・各ロッジの見取図は、P36を参照してください。

① 【西川ロッジ〔NL〕】 (宿泊定員 20人) 利用期間:通年

- ・シーツ・枕カバー貸出し／返却は、「ロッジ内玄関」です。
- ・宿泊者の入浴は8人以上であれば宿泊棟の浴室が利用できます。
(※ ロッジ内の身障者対応シャワーも利用可能です。)
- ・8人以上であれば食堂の利用が可能です。ロッジ内での自炊もできます。
(※ ただし、宿泊定員の限度内での自炊に限ります。)
- ・浴室、食堂の利用は、P7「(4)浴室の利用について、(5)食堂の利用について」を参照してください。
- ・自炊設備は、炊事室にコンロ(5)・冷蔵庫(1)があります。

② 【メインロッジ〔ML〕】 (宿泊定員 14人) 利用期間:3月下旬～11月

- ・シーツ・枕カバー貸出し／返却は、「ロッジ内玄関」です。
- ・宿泊棟の浴室は利用できません。ロッジ内のシャワーを利用してください。
(※ ロッジのみ宿泊利用の場合)
- ・8人以上であれば食堂利用が可能です。また、ロッジ内での自炊もできます。
(※ ただし、宿泊定員の限度内での自炊に限ります。)
- ・自炊設備は、炊事室にコンロ(5)・冷蔵庫(1)があります。

③ 【第3 キャンプ場ロッジ〔3 CL〕】 (宿泊定員 10人) 利用期間:4月～10月

- ・シーツ・枕カバー貸出し／返却は、「ロッジ内玄関」です。
- ・宿泊棟の浴室は利用できません。ロッジ内のシャワーを利用してください。
(※ ロッジのみ宿泊利用の場合)
- ・8人以上であれば食堂利用が可能です。また、ロッジ内での自炊もできます。
(※ ただし、宿泊定員の限度内での自炊に限ります。)
- ・自炊設備は、炊事室にコンロ(2)・冷蔵庫(1)があります。

4 テントでの生活

利用期間: 4月～9月

当施設には3つのキャンプ場及びキャンプフリーサイトがあります。

第1キャンプ場(1C) 第2キャンプ場(2C) 第3キャンプ場(3C)	常設のテント利用
キャンプフリーサイト	指定された利用日の持ち込みのテント利用

(1) 常設テントの利用について

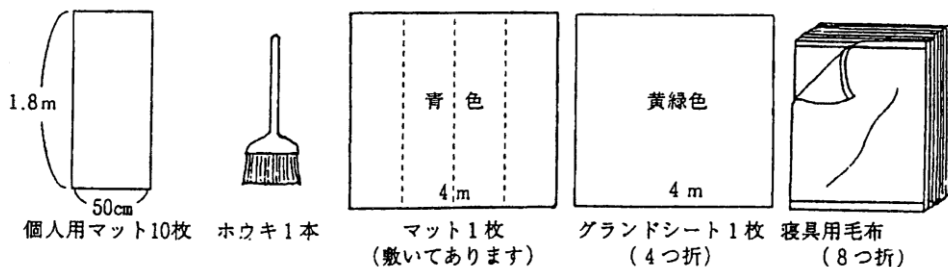
キャンプ場のテント(1張12人用)は、すべて固定式になっています。以下の手順で入退室してください。



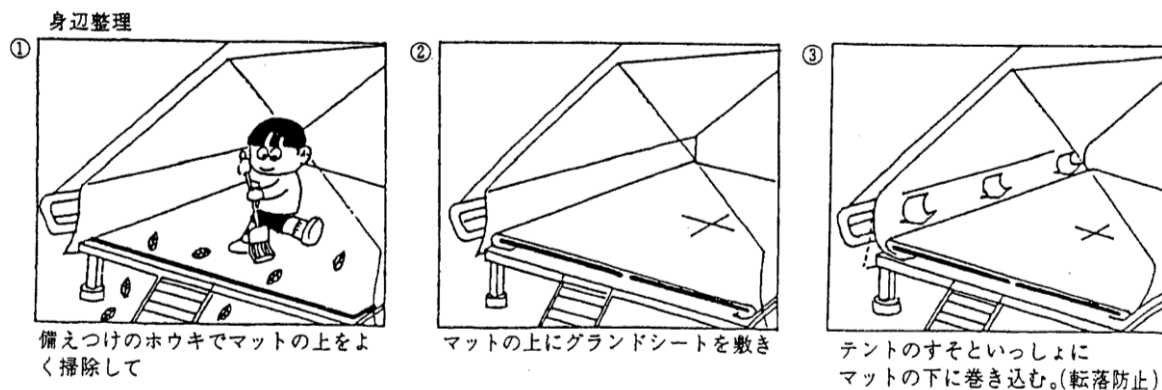
※ ひも・ファスナーチャックをしっかりと締めてください。

※ 定期的に換気を行ってください。

テント内に備え付けてあるもの



テントに入るとき

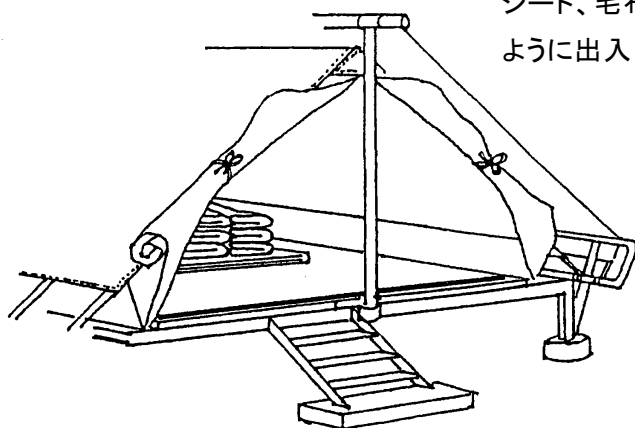


※ ③は第2キャンプ場の一部、第3キャンプ場についてです。

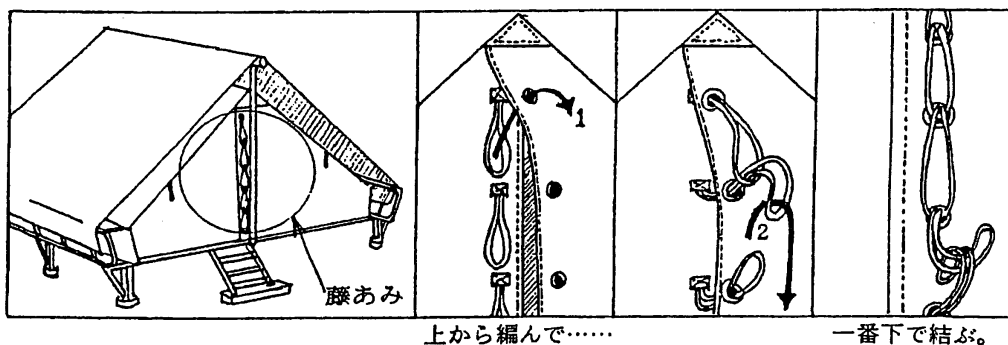
(②までは第1キャンプ場～第3キャンプ場まで共通)

テントを出るとき

☆ 整頓するときは、テント中央にグランドシート、毛布を重ねる。雨にぬれないように出入口は閉めてください。



テントのとり方(第2キャンプ場)



- ※ 第1・第3キャンプ場はファスナー式、第2キャンプ場の一部は、ファスナー式
- ※ 第3キャンプ場はファスナー式であるとともに、側面部と天井部に換気用窓があるため、雨天時は必ず閉めてください。

注意事項

- ・ 不審者の侵入を防ぐため、ゲートは常時施錠しています。キャンプ場利用時(入所時)に、ゲートの鍵(かぎ)をお貸しします。鍵は各団体で管理し、キャンプ場利用後、ゲートを施錠し、事務室へ返却してください。
- ・ テント内で火気(ロウソク・タバコ・蚊取り線香等)の使用はしないでください。
- ・ 雨天時以外は、テント内で食事をしないでください。
- ・ 雨天時は、テント出入り階段はすべりやすくなりますので、注意してください。
- ・ 他のテントへ寝具類を移動させないでください。
- ・ テントは、場所によっては高い位置にあります。転落に注意してください。
- ・ 靴を履く際には、靴の中に害虫が入ることがありますのでよく確かめてください。

5 キャンプフリーサイトの利用

(1) 開設日 (予定)

2024 年 4 月 27 日、5 月 18 日、6 月 22 日、7 月 20 日、8 月 3 日、8 月 10 日、9 月 28 日、10 月 12 日
2025 年 3 月 29 日 (計 9 回)

(2) 場所

第 1 キャンプ場横こども広場

(3) 申し込みについて

- ・ 電話、もしくは来所にて承ります。
- ・ 令和6年度分の予約は令和6年4月1日から受付を開始します。
- ・ ご利用日の前日午前12:00まで。申し込みを受付けます。

(4) 利用条件

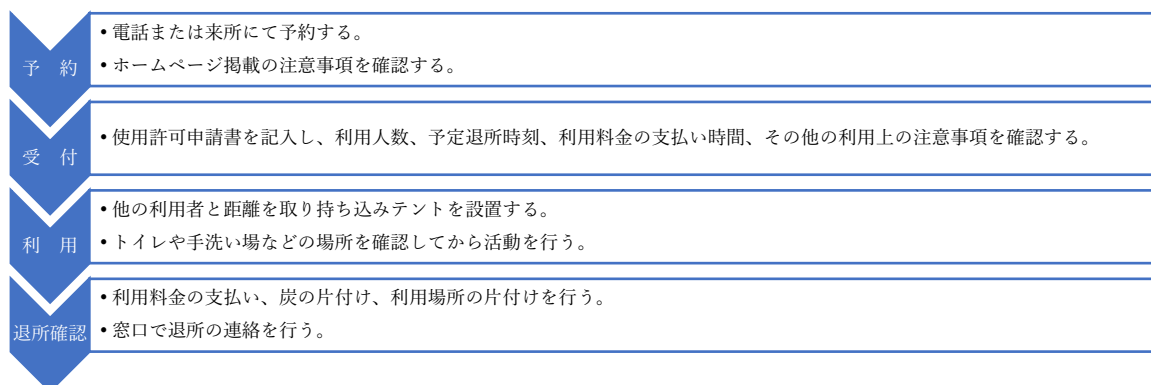
- ① 直火不可 ② ゴミの持ち帰り ③ 物品貸出不可 ④ 青少年施設のため飲酒禁止
- ⑤ 入浴・シャワー設備・電源なし ⑥ こども広場への車乗入は不可
- ⑦ 入所 14 時より退所 14 時まで ※持ち込みテント ⑧ こども広場のテント数は全体で最大10張まで
- ⑨ ペットの同伴不可 ⑩ 他の利用者の迷惑となる行為をしないこと

※広島市指定の事業用ゴミ袋を持参された場合は、施設内のごみ集積かごが利用できます。利用の際は、P18「ゴミの処理について」を参照し、適切に処理してください。

(5) 利用料金

小人 220 円 (小学生～高校生) 大人 470 円 幼児無料

(2) 利用の流れ



6 炊飯場の利用

- ・ 当施設には、4つの炊飯場があります。

第1キャンプ場炊飯場 ・ 第2キャンプ場炊飯場 ・ 第3キャンプ場炊飯場
中央炊飯場

(1) 利用可能期間

- ・ 3月中旬～12月上旬 凍結防止のため、冬期(12月中旬～3月上旬)は閉鎖します。
- また、利用可能期間中であっても水道管凍結防止により止水するため利用できない場合があります。

(2) 利用の条件

各キャンプ場宿泊団体……………「宿泊するキャンプ場の炊飯場」を、優先利用できます。

(例：第1キャンプ場宿泊者が第1キャンプ場炊飯場を優先利用)

宿泊棟・ロッジを利用する団体…中央炊飯場が利用可能です(要事前予約)。**9か月前から、先着順で予約を受け付けます。**ただし、キャンプ場利用団体がいない場合や、キャンプ場閉鎖後(10月～11月)であれば、キャンプ場の炊飯場も利用できます。

日帰りの団体…中央炊飯場が利用可能です(**6か月前から要事前予約**)。ただし、キャンプ場利用団体がいない場合や、キャンプ場閉鎖後(10月～11月)であれば、キャンプ場の炊飯場を利用できます。

※ 炊飯場は割り当てられた場所を利用し、他を利用しないでください。

※ 日帰りでの炊飯場利用時間は、**9:00～16:00**です(**時間厳守**)。

(3) 炊飯用具の貸出しについて

- ・ 炊飯用具や食器は各利用団体で用意していただきますが、希望があれば下記の物品を貸し出します。
- ・ 別紙「**物品貸出票**」(P32参照)に必要事項を記入し、お申し込みください。

食 器 (皿)	バ ケ ッ ツ (8 口)	山 な た (ま き わ り 用)
炊 飯 用 な べ (8 合)	バ ッ ト (角 盆)	食 器 か ご
まな板(板タイプ・シートタイプ)	包 丁	手 打 ち う ど ん セ ッ ト
大 な べ (1 3 口)	飯 し ゃ も じ	
や か ん (5 口)	か な じ ゃ く し (お た ま)	

※ 用具の使用にあたっては大切に扱ってください。返納時、用具の汚れや破損がひどい場合には、洗い直し又は弁償していただきます。

※ 使用前には、包丁、まな板、食器などをよく洗い、使用後もよく洗ってきれいにし、**水分をしっかりふき取ってから返却**してください。

※ 利用可能期間や優先利用できる団体等の条件があります。詳しくは当施設へお問い合わせください。

(4) まきについて

- ・炊飯に使用する「まき」は、当施設で販売しています。別紙「物品貸出票」(P32参照)に必要事項を記入し、お申し込みください。申し込まれた「まき」は、利用される炊飯場に用意します。
- ・まきを束ねてある針金(金輪)は、切断せずに灰捨て場横の「金輪置場」のフックに掛けておいてください。
- ・「金輪を外していない束のままのまき」は、返品することができます。ただし、「濡れたり、焦げたり、一部を抜き取ったりしてあるまき」は、返品できません。

(5) かまどについて

- ・耐火レンガがひび割れるため、絶対に水をかけないでください。
- ・残り火や灰は、水を入れたパール缶(大きな金属バケツ)に入れて消火した後、スコップ・一輪車で灰捨て場に運んでください。
- ・灰捨て場から煙が出ている場合、消火が不十分であるため、バケツやホースリール等を使い、直接水をかけて確実に消火させてください。

(6) 食材について

- ・食材は各団体で用意するか、食材納入業者(グルメサービス)に直接申し込んでください。
- ・食材は、各炊飯場「備付けの冷蔵庫」で保管してください(ワイヤーロック式の鍵を貸し出すこともできます。)
- ・食材をテーブル等に置いたまま、その場を離れると、鳥獣の被害に遭う恐れがあるため、食材からは目を離さないようにしてください。

(7) ゴミ処理について

P18「ゴミの処理について」を参照し、適切に処理してください。

(8) その他

- ・まな板・包丁の消毒のため、各利用団体でアルコールスプレーを用意してください。消毒アルコールは、よく洗った後、乾いた状態にして吹き付けてください。万一、消毒アルコールに不足が生じる状況となった場合は、事務室にご相談ください。
- ・冷蔵庫の電源は、切らないでください。
- ・節水に心がけてください。
- ・炊飯場利用後は、屋外トイレの消灯と水道蛇口(トイレ・炊飯場)がきちんと締められていることを必ず確認してください。
- ・お帰りの際は、「炊飯場片付け確認表」(入所時にお渡しします)により片付けを行い、同確認表を事務室へ提出してください。

7 バーベキューサイトの利用

(1) 利用可能期間

- ・ 3月中旬～12月上旬の開所日の土、日、祝日(但し、主催事業及び団体の利用がある場合を除く)の9時から16時まで

(2) 利用場所

- ・ 中央広場周辺の指定区画(全9区画)
- ・ 水道については、中央炊飯場での共用となります。
- ・ 各区画に電源はありません。

(3) 申し込みについて

- ・ 電話、もしくは来所にて承ります。
- ・ 令和6年度分の予約は令和6年4月1日から受付を開始します。

(4) 利用について

① バーベキューコンロ持参・直火不可

② ゴミの持ち帰り

※広島市指定の事業用ゴミ袋を持参された場合は、施設内のゴミ集積かごが利用できます。利用の際には、P18「ゴミの処理について」を参照し、適切に処理してください。

※灰や残った炭は、最寄りの炊飯場の灰捨て場が利用できます。利用の際は完全に消火していることを確認してください。

③ 物品貸出不可

④ 青少年施設のため飲酒禁止

⑤ ペット同伴禁止

⑥ 他の利用者の迷惑となる行為をしないこと

(5) 利用料金

- ・ 無料

詳細については、電話でお問い合わせください。

(TEL 082-835-1444)

8 ファイヤー場の利用

当施設には、8か所のファイヤー場（F1～F8）があります（P40「キャンプ場テント、ファイヤー場配置図」参照）。

（1）利用の条件

- ・ ファイヤー場の利用は、原則として宿泊団体に限ります。
- ・ 宿泊場所により優先利用できる団体が定められています。

宿泊場所	宿泊棟・ 西川ロッジ	第1キャンプ場・ メインロッジ	第2キャンプ場	第3キャンプ場・ 第3キャンプ場ロッジ
ファイヤー場番号	F1、F2	F3、F4	F5、F6	F7、F8

（2）利用方法

- ・ 各ファイヤー場の利用希望については、別紙「活動計画表」（P30参照）の活動場所欄に「F1」等と記入してください。
- ・ 利用場所については、団体人数の規模や活動希望場所等を考慮し、当施設で調整して決定します（ご希望に添えないこともあります。）。

（3）ファイヤー材について

- ・ 当施設で販売しています。ご希望の団体は別紙「物品貸出票」（P32参照）に必要事項を記入し、申し込んでください。

《販売内容》 まき（1束400円）・台木（1本400円）・灯油（100円/L）

※ 灯油の容器（灯油が残ったままでも構いません）は、使用後に事務室へ返却してください。なお、残った灯油分の返金はできません。

- ・ 申し込まれたファイヤー材は天候にもよりますが、14:00以降に、使用するファイヤー場（天候が不安定な場合は、周辺の屋根がある場所）に用意します。
- ・ 未使用のまき・台木につきましては、返品できますので精算時に残数をお知らせください。

（4）その他

- ・ 井桁（いげた）は、各団体に組んでください。
- ・ キャンプファイヤーの残り火は、直接水をかけて消火してください。翌朝、所定の灰捨て場に運んでください。（各ファイヤー場にホースリールを用意していますのでご利用ください。）
- ・ 未使用のファイヤー材は、そのままシートをかけて準備してあった場所に置いておいてください。職員が回収します。
- ・ トーチは各団体でご用意ください。
- ・ ファイヤーロード缶を無料で貸し出しています。使用希望の場合は、事務室にお申し出ください。
 - ※ 公道及びテント周辺等での使用は禁止します。
 - ※ ロード缶の消火用バケツを必ず用意してください。
- ・ コンセントや電灯スイッチの設置場所、電源ボックスの鍵等の扱いについて、詳しくは事前に当施設職員にお問い合わせください。

9 研修室・工作館の利用

当施設には、7つの研修室及び工作館があります。

研修棟	研修室1(100人)、研修室2(50人)、研修室3(50人)、研修室4(70人)
宿泊棟	1階:めだか研修室(48人)、2階:とんぼ研修室(48人)
体育館	体育館研修室(70人)
工作館	工作館(100人)

※ 研修室4、めだか研修室、とんぼ研修室には、冷房設備があります。

(1) 利用方法

- 利用希望の場合は、別紙「活動計画表」(P30参照)の活動場所欄に、「研1」「めだか」「体研」等と記入してください。

研修室1 → 研1 研修室2 → 研2 研修室3 → 研3 研修室4 → 研4 工作館 → 工
めだか研修室 → めだか とんぼ研修室 → とんぼ 体育館研修室 → 体研

- 利用の可否については、「活動計画表」提出後、当施設で団体間の調整を行って決定します。
(利用日の約1か月前から調整をします。希望に添えない場合は、代替案を団体に連絡します。)
- **研修室の利用は、宿泊団体優先です。**日帰りでの利用については、宿泊団体の利用調整後で空いている場合は、3人以上で利用可能です(利用できる団体については、P1の1「利用について」利用できる団体に準ずる)。

(2) 研修室の利用について

- 部屋の利用後は、照明・暖房器具等の電源スイッチを切ってください。
- 机やイスの使用後は、必ず整理整頓をして、所定の位置に戻してください。
- 机やイス、その他の備品を、所定の部屋から他の部屋に移動させないでください。
- 液晶プロジェクターが使用できます。ご希望の場合は、事務室にお問い合わせください。
- 体育館研修室を利用する場合、部屋専用の鍵はありませんが体育館正面玄関の鍵が必要です。鍵は事務室で貸し出しますので、利用後は速やかに返却してください。
- **火気厳禁です。ただし、「キャンドルのつどい」は可能です。**
- 原則、はさみ以外の刃物は、研修室では使用禁止です。



(3) 工作館の利用について

- 工作館のみ土足禁止です。活動される場合は上靴を用意してください。
- 刃物等の備品がありますので、道具や設備を勝手に触らないようにしてください。

10 体育館の利用

(1) 利用方法

- 体育館を利用したい場合は、別紙「活動計画表」(P30参照)の活動場所欄に「体育館」と記入してください。
- 利用の可否については、「活動計画表」提出後、当施設で団体間の調整を行って決定します(利用日の約1か月前から調整をします。希望に沿えない場合は、代替案を団体に連絡します。)
- 体育館の日帰りでの利用は、宿泊利用者がいない日に限り、3人以上で利用可能です。利用日の1か月前からお申し込みください(利用できる団体については、P1の1「利用について」の利用できる団体に準じます。)

(2) 利用上の注意

- 鍵は、事務室で貸し出します。利用後は速やかに返却してください。
- 上ぐつ(体育館シューズ)を履いて活動してください。
- 使い方や球技の内容(サッカー、フットサル、野球等)によっては、利用できません。詳しくは、当施設へお問い合わせください。
- 倉庫にある運動器具等を使用した場合は、整理・整頓をしてください。
- 体育館内でのストーブ使用等、火気は使用禁止です(「キャンドルのつどい」は可能です。)
- 利用後は、消灯・戸締まりを確実に行ってください。

《利用例》

- ・バドミントンコート(4面) ・卓球台(7台) ・バスケットゴール(2対)
- ・バレーボールコート(2面) 等

※ ボール、シャトル等は、団体で用意してください。

(3) 体育館見取図

P37を参照してください。



11 ごみの処理について

ごみの処理については、原則、お持ち帰りいただいておりますが、広島市事業ごみ指定袋（可燃ごみ用・プラスチックごみ用・不燃ごみ用）（広島市内のコンビニエンスストア等で販売）を持ってこられた場合は、当施設で処分することもできます。その場合、以下の方法で分別し、活動場所近くの「ごみ集積用の金かご」の中に入れてください。

【金かごの設置場所】

- ◆ 各炊飯場
- ◆ 研修棟駐車場側ピロティ内（P 3 4 参照） ← ダンボール置場と隣接
- ◆ 宿泊棟自動販売機横（食堂付近）

※令和2年4月から広島市ごみ収集に係る分別方法が変更になっています。

可燃ごみ	・紙 ・木くず ・生ごみ ・生ごみが付着しているビニール袋	・広島市事業ごみ指定袋（可燃ごみ用）に入れてください。 ・生ごみは水気をよく切ってから、新聞紙に包むか小袋に入れた後、指定袋に入れてください。 ・生ごみが入った指定袋は、金かごの中央付近に置いてください。（カラスなどの鳥獣による散乱防止）
プラスチックごみ	・ビニール ・プラスチック ・ペットボトルのふた ・トレー等	・広島市事業ごみ指定袋（プラスチックごみ用）に入れてください。 ・食品が入っていたビニールやプラスチック容器、弁当がらで、生ごみやにおいが残っているものは、燃えるゴミとして処理してください。
不燃ごみ	・プラスチックごみ以外のもの	・広島市事業ごみ指定袋（不燃ごみ用）に入れてください。
ペットボトル		・つぶして、利用団体持込みの「透明のビニール袋」に入れてください。 ・ふたとラベルは「プラスチックごみ」として処理してください。
ビン・缶		・中を洗い、利用団体が持込みの「透明のビニール袋」に入れてください。
ダンボール		・折りたたんで、研修棟駐車場側ピロティ内の金かご横（P34参照）に積み重ねてください。
発泡スチロール 有害ごみ・大型ごみ		※必ずお持ち帰りください。
弁当がら		・分別処理してください。 ・容器に残飯が付着している場合は、燃えるごみとして処理してください。 ・弁当が入っていたダンボールは上記のダンボール処理と同様です。
紙パックジュース		・紙パックは、たたんで可燃ごみとして処理してください。
生理用品等		・トイレ個室内の三角コーナーへ直接入れてください。その際、小さく折りたたんで入れてください。いっぱいになった場合は、紙袋又はビニール袋にまとめて、トイレ奥に置いておいてください。清掃員が廃棄します。

12 物品の貸出しについて

下表の物品は、無料で貸し出します。希望される団体は、事務室にお申し込みください（物品の種類によっては、別途、物品貸出票（P32参照）等の提出が必要となります）。なお、数に限りがありますので、希望に応じられない場合もあります。できるだけ各団体で準備してください。

物 品	数量	備 考
○ 炊飯用具		※ P12を参照してください。炊飯用具の貸出しを希望される場合は、利用日の1か月前までに「物品貸出票」（P32参照）を提出してください。
○ チェーンロック（鍵）	8	・ 屋外冷蔵庫用
○ アルコールスプレー	10	・ 滅菌消毒用
○ アンプ（マイク）	4	・ 1団体1台まで（CD、USB メモリ、SDカード使用可）
○ 電源ドラム（30m）	4	〃
○ マイクスタンド	1	
○ ホワイトボード用マーカー	8	・ 研修棟のみ
○ チョーク	多数	・ 研修用
○ 鈴	70	・ クマ対策用
○ バケツ	10	・ 防災用
○ プロジェクター（・スクリーン）	2	
○ ゼッケン（5色 各30枚）	5	・ オリエンテーリング、ウォークラリー等用
○ スタート・ゴール幕	5	〃
○ オリエンテーリング説明板	2	〃
○ ゲームベスト（2色 各10枚）	2	
○ バインダー	50	
○ ファイヤーロード缶	多数	
○ なた	多数	
○ 燭台（しょくだい）	4	・ 「キャンドルのつどい」用（体育館2・研修棟2）
○ 天体望遠鏡	10	※ 要事前予約
○ 双眼鏡	20	・ 「天体望遠鏡等使用申込書」を提出してください。
○ フィールドスコープ	15	・ 「天体望遠鏡」の運搬・設置・撤去・指導は各団体で行ってください。
○ 星座早見盤	20	
○ 車いす	2	
○ 各種冊子	多数	・ 植物、昆虫観察用、野鳥ハンドブック（30）

※ アンプや天体望遠鏡等の機器の使用にあたっては、衝撃を与えたり、水で濡（ぬ）らしたりしないよう十分注意してください。アンプは室内での使用を基本としますが、屋外で使用する場合は、必ず養生用のシートを敷いてください。

※ 故意、過失によらず破損、紛失については実費弁償していただきます。

※ 印刷・コピーが必要な場合は、事務室で承ります（有料）。

13 準備物について

当施設の利用にあたり、利用団体で準備していただきたいものを記載しています。活動内容に応じてご準備ください。

(1) 団体で準備していただくもの

物 品	備 考
○ 現金	・お支払い用(食堂への支払以外、振り込み不可です。)宿泊費、消耗品費の支払は、原則、退所日の9:00から11:00までです。それまでの施設利用期間中は、事務室でお預かりすることもできます。
○ 足ふきマット(大きめの雑巾)	・入浴時使用
○ 救急薬品	
○ 活動用物品・事務用品	・バインダー、ハサミ、のり、マジック等
○ 炊飯用物品	・石けん、洗剤、金タワシ、スポンジ、古新聞、計量カップ等 ※すすを取れやすくするためのクレンザー(粉)、はけ等
○ ごみ袋	・当施設での処分を希望される場合は、可燃ごみ・プラスチックごみ・不燃ごみについては広島市の事業ごみ指定袋が、その他のごみ(ペットボトル、ビン、缶)については透明のビニール袋が必要となりますので、必ずご用意ください。 ※分別方法は、P18をご参照ください。
○ 炊飯用食材	・各炊飯場の冷蔵庫で保管できます。
○ お茶の葉	・野外炊飯、水筒の入替え用
○ ふきん等	・食器等を洗った後のふき取り用(多めに)
○ パーベキュー用物品	・炭、コンロ、網等
○ キャンプファイヤー用物品	・トーチ、さん木、火矢用針金と取付け金具等(※1)
○ キャンドルのつどい用物品	・ろうそく、個人用燭台(しょくだい)としてアルミホイル等
○ 電池	
○ 球技用ボール	
○ 拡声器	
○ 病院への運搬(緊急)車両	・けが人・病人が出た場合の病院への搬送用

※1 火矢用針金等は、使用後灰捨て場に捨てず、必ず使用団体で持ち帰ってください。

(2) 個人として準備していただくもの

物 品	備 考
○ 着替え	・野外活動は、長袖(そで)・長ズボンが基本です。
○ 入浴セット	・シャンプー、ボディーソープ、タオル等
○ 洗面用具	・歯ブラシ、コップ等
○ 防寒対策	・朝晩は冷えます。1枚多めに用意してください。
○ 雨具	・傘・カッパの両方あれば便利です。
○ 上靴	・宿泊棟、食堂、体育館利用時に必要です。(雨天時:研修棟)
○ 懐中電灯	・キャンプ場の利用や夜のプログラムがある場合に必要です。
○ 軍手	・木綿100%のものが良いです。
○ 食器	・はし、スプーン、おわん、コップ等
○ 常備薬	
○ 生理用品	

14 当施設敷地内に生息・出没する危険な生物

(ヘビ、ハチ、クマ、ムカデ、マダニ)

〈ヘビ〉 ※毒により死に至ることもあるので、十分に注意してください。

毒蛇であるマムシ・ヤマカガシがいます。知らずに踏みつけたり、目の前を通ったりして咬(か)まれることがあります。草むらや茂みのそばを通るときは十分注意してください。

また、コースを外れたディスクを取りに行くときは、草むらや石の下等に手をつっこむ前に、ヘビがいないか気を付けて見てください。



◆マムシ

特徴： 茶褐色のずんぐりした体と頭部が三角形で、胴に大きな銭型模様とよばれる「丸描いてチョン」の独特の迷彩模様です。

茶褐色の丸い模様の中央に暗色の斑点があります。

小型(45～80cm)のヘビですが、毒性は強力でハブの3倍あるといわれています。



◆ヤマカガシ

特徴： 頭は細長く、体色は、暗緑色をベースに赤と黒が交互に入った色鮮やかな模様が入っています。体色には個体差や地域差が大きく、標準と大きく異なる体色の個体もあります。

以前は、無毒と言われていましたが、マムシの3倍の毒性があることがわかりました。おとなしいヘビと言われていますが、手で触ったり踏んだりしないようにしてください。咬まれると大変危険です。

【対策】

- ◆ 歩くときや草むらに近づくときなどは、うっかりヘビを踏んでしまうことがないように、足もとをよく確かめること。
- ◆ 屋外での単独行動や突発的に草むらに入るようなことは避けること。
- ◆ ヘビを見つけても、刺激するようなことをしたり、素手で捕まえようとしたりすることは絶対にしないこと。

〈ハチ〉 ※ アナフィラキシーショックにより死に至ることもあるので、十分に注意してください。

スズメバチ・アシナガバチ・ミツバチなどの巣のそばを通ると、危険です。近寄らないでください。

【対策】

- ◆ 黒い帽子や衣服を着るのは、できるだけ避けること。
- ◆ 樹液の出ている木のそばを通るときは、ハチを刺激しないよう十分に注意して通過すること。
- ◆ ハチを見つけたら、刺激しないように、静かに後退すること。

※ 巣を見つけたら速やかに事務室に連絡してください。

【ハチに刺されたときの対処法】

- 巣から遠く、安全な場所まで移動すること。
- 事務所に緊急連絡すること。
- 刺された部分を保冷剤などで冷やすこと。
- 救急車の出動要請(119番)を検討すること。



〈クマ〉

野外活動センター・こども村を含む、安佐町内の山々はクマ(数は多くありませんが)の行動圏になっています。このため、当施設内や牛頭山での活動中に、クマを目撃する可能性も皆無ではありません。そこで、利用者の皆さんは、次のことを知っておいてください。

- (1) 広島に山にいるクマは、「ツキノワグマ」で北海道にいる「ヒグマ」とはちがいます。
ツキノワグマは、刺激しない限り一方的に攻撃してくることはありません。
- (2) 山に入るとき、しっかり人の気配をさせて入れば、クマの方から人間を避けてくれます。人がいることをアピールする方法として、単独ではなくグループでまとまって声を出したり、歌を歌ったり、おしゃべりをしたりして歩くことが効果的です。鈴やラジオを鳴らすことも有効です。
必要であれば、鈴をお貸します。事務室へお申し出ください。
- (3) 万一、クマと遭遇した場合
 - ① 遠くにクマを見つけたら、静かに急いで立ち去ること。
 - ② 近くで出会った場合は、静かにじっとしていること。まずクマの方から立ち去ります。急に動いてクマを刺激すると、追いかけて襲ってくる場合があります。
 - ③ 小さな子グマを見かけたら、そばに母グマがいる可能性が高いため、近寄ると危険です。
 - ④ もしも、クマの姿や足跡、爪で木をひっかいたような跡を見かけた場合は、**必ず事務室に報告してください。**
- (4) ごみや弁当がらを山に捨てないでください。クマが人の食物の味を覚えると、ごみあさりをして人と接触する危険が増大します。クマは山でひっそりと暮らす生き物です。人の暮らしを当てにする「困ったクマ」にさせないために、ごみの始末もきちんとしてください。
- (5) 「クマは森なり」といわれます。絶滅危惧種に指定されているクマの状況は、いまの森の状況を考える上で、大切な教材でもあります。機会があれば自然教育の教材としてクマを取り上げてくださ



ツキノワグマ

〈ムカデ〉

梅雨時に出てくる不快害虫の代表がムカデです。足が21対もあり強靱(きょうじん)な毒牙(どくが)をもっています。咬(か)まれると焼けるように痛く、患部が腫れあがります。ムカデの毒はスズメバチの毒に近く、幼児や子どもが咬まれると非常に危険です。

当施設では、テントや建物の周囲へ必要に応じてムカデ侵入防止の薬剤を散布していますが、自然に囲まれた施設なので、侵入を完全に防ぐことは不可能です。テント利用の際は、テント内を十分確認してください。殺虫剤を使いたくなりますが、ムカデは多くの殺虫剤に対して感受性が低く、なかなか効きません。瞬間冷凍スプレーが効果的です。また、お風呂用洗剤をスプレーすると効果があります。

【ムカデに咬(か)まれたときの応急処置】

- ① 真っ先に**熱め(43～45℃)のお湯**で皮膚表面に付着した毒を(10分～20分程度)洗い流すこと。(40℃以下だと、毒が活性化し余計にひどくなる場合があります。)
- ② 熱いお湯で洗い流すとともに、**弱酸性以外の石けん類**で洗い流すこと。(痛みや腫れを抑制する効果が期待できます。)
- ③ 抗ヒスタミン含有ステロイド軟膏が、痛み腫れに効果的。
- ④ 氷で患部を冷やしたまま速やかに病院へ行く。

【ムカデに咬(か)まれたときにやってはいけない事】

- 口で毒を吸い出すこと
- 指などで絞り出すこと



〈マダニ〉

マダニは、食品などに発生するコナダニや衣類や寝具に発生するヒョウダニなど、家庭内に生息するダニとは種類が異なります。

マダニ類は、固い外皮に覆われた比較的大型のダニで、主に森林や草地などの屋外に生息しており、市街地でも見られます。

マダニが媒介する感染症（日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群、ダニ媒介脳炎など）もあり、ごくまれに重症化することがあるので注意が必要です。



【マダニの性質】

- ① 植生上で吸血源の動物が通りかかるのを待ち伏せしている。
- ② 活動時期は、4月中旬～11月下旬
- ③ マダニは吸血が完了すると落ちる。
- ④ 動物の通り道はマダニに吸着される危険性が高い。

【マダニの吸着状況】

- ① 皮膚に口器を差し込み、セメントのような物質によりしっかり固着する。
- ② 吸着されても痛くもかゆくもないので、なかなか気づかない。
- ③ 農作業、レジャーや庭仕事など野外で活動する際には、次の点に注意が必要です。
 - ・ 長袖、長ズボンなどを着用して肌の露出を避け、ズボンやシャツの裾などを入れ込んでマダニの侵入を防ぐ。
 - ・ 野外活動後は、体や服をはたき、マダニに咬（か）まれていないか確認する。マダニは、身体に取り付いてすぐに咬むのではなく、体の柔らかい部位を探して咬む習慣があります。
 - ・ 脱いだ衣服は放置せず、すぐに洗濯するか、ナイロン袋に入れて口をしばっておく。
 - ・ 吸血中のマダニを見つけた場合は、自分で取ろうとせず医療機関で処置してもらう。

【事前の対策】

- ◆ 肌の露出を少なくすること。
 - 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等。
- ◆ 長そで・長ズボン・登山用スパッツ等を着用すること。
 - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる。
- ◆ 足を完全に覆う靴を履くこと。
 - 肌の露出の多いサンダル等は避ける。
- ◆ 明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）こと。
 - ※ 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにする。
 - ※ 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認する。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）等に注意。

【マダニに咬まれたときの対処法】

- 指やピンセットで無理に引っばって皮膚から取り除こうとせず、医療機関（皮膚科等）で処置（マダニの除去、洗浄等）をしてもらうこと。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状がある場合は、医療機関で診察を受けること。

15 急病、けが、事故発生時の連絡について

- (1) 救急車を呼ぶときには引率者が直接119番に連絡して症状等を伝え、必要に応じ指示を受けてください。
けが人等が出た際は、事務室へもご連絡ください(夜間、早朝で事務室につながらないときは、宿直室又は警備員室へご連絡ください。)。救急車の誘導が必要な場合は職員が行います。

連絡先	内線番号
事務室	10～20
宿直室	30
警備員室	39

その他の内線設置場所・番号はP32～参照

広島市救急医療機関案内

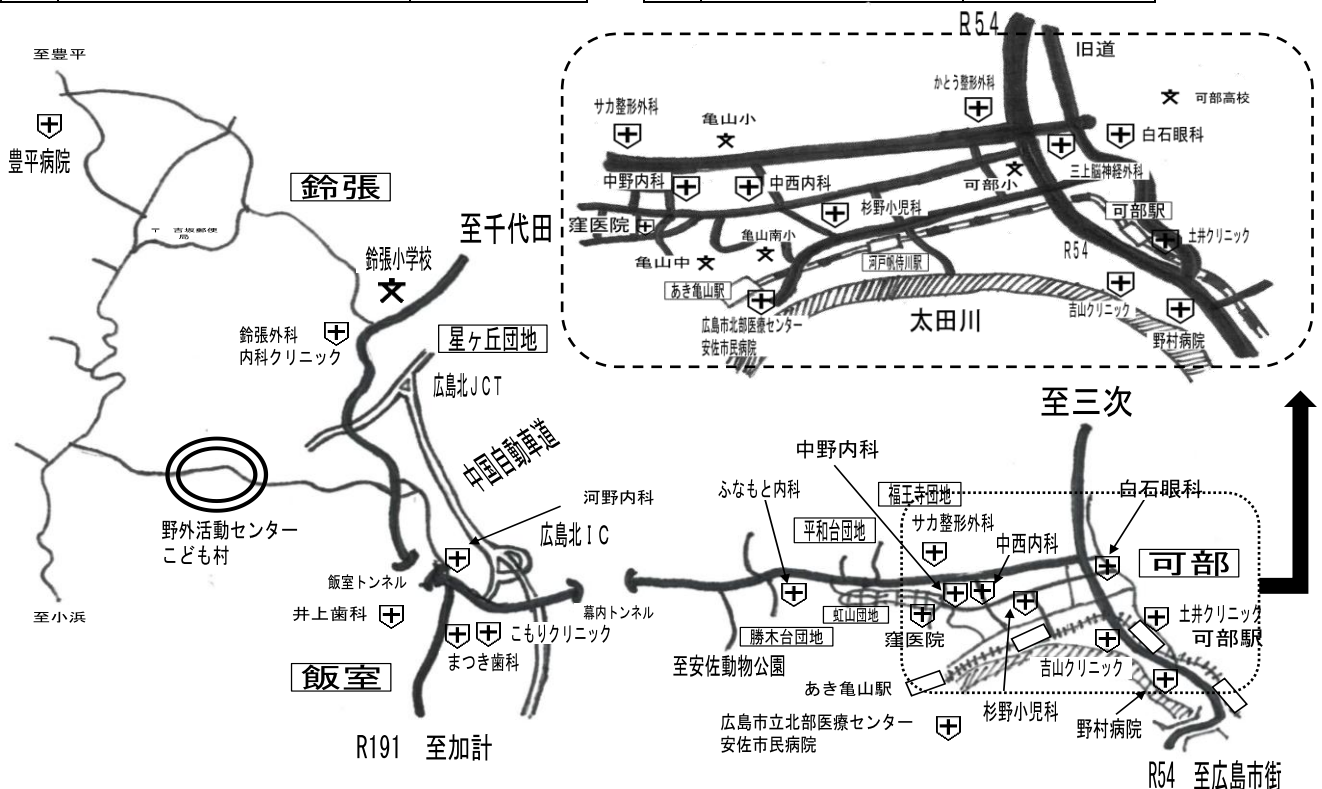
246-2000
(24時間365日受付)

★ AED(自動体外式除細動器)を研修棟
事務室前に備えています。

- (2) 必要に応じて、救急医療機関案内や受入可能な医療機関について情報提供します。
(3) 土・日・祝日の当番医については、団体で事前にご確認ください。
(4) 近隣の医療機関

総合	安佐市民病院	815-5211
外科	鈴張外科・内科クリニック	835-0260
	サカ整形外科	815-9999
	かとう整形外科	554-8606
	こもりクリニック(形成外科)	835-3755
	小田クリニック(あさひが丘)	838-3131
	野村病院	815-2882
	吉山クリニック(脳外科)	815-0666
	三上脳神経外科	819-2282

内科	河野内科	835-3050
	中西内科	815-1211
	ふなもと内科	815-1801
	中野内科	812-2711
	杉野小児科	815-1334
眼科	白石眼科	812-2325
	こもりクリニック	835-3755
歯科	まつき歯科	835-2138
	井上歯科	835-0114



16 その他 利用上の注意等

青少年の健全育成施設であることをふまえて、常に責任のある行動をとり、以下の注意事項をよく理解して利用してください。

- (1) 健康管理
睡眠を十分にとり、便通を整えてください。病中・病後の方、持病のある方、発熱や下痢など体調不良の方は、医師に相談の上で入所してください。引率責任者は、参加者全員の健康状態を把握し、無理のない活動をするよう心がけてください。
- (2) 交通事故防止
施設内には一般道路があります。通行する際は十分に注意し、歩道があるところは必ず歩道を通ってください。
- (3) 単独行動の慎み
自然の中で活動する以上、活動場所が全て安全とは限りません。単独行動をせず、必ず二人以上で行動してください。
- (4) 電話の取次ぎ
緊急の場合を除き行いません。伝言はします。
- (5) 公衆電話
公衆電話は、宿泊棟1階ロビーにあります。
- (6) 喫煙
建物内は禁煙です。屋外に灰皿を設置している指定場所で喫煙してください。
- (7) 飲酒
飲酒は厳禁です。
- (8) 火の取扱い
打ち上げ花火、ファイヤー場等の指定場所以外でのたき火は厳禁です。手持ち花火等を行う場合は、当施設へ事前に確認の上、指定箇所において、あらかじめ消火の準備を整えて行ってください。
- (9) ペット
ペットの連れ込みはご遠慮ください(介助犬等は可)。
- (10) 自然保護
施設内の自然環境保護のため、動植物の採取はしないでください。
- (11) 節水
当施設の水は山水や井戸水を取水し、ろ過・殺菌・消毒し、飲料水(生水は飲まない方がよい)だけでなく、生活水として活用しています。水量に限度がありますので節水に心がけてください。
- (12) 貴重品
貴重品は必ず身に付けるか、団体ごとに管理してください。事務室に預けることも可能です。また、研修棟と宿泊棟にコインロッカー(100円リターン式/鍵は自己管理)を設置していますので、ご利用ください。
- (13) 忘れ物
持ち主がわかるものについては、利用団体に連絡します。
- (14) 設備・備品の破損
故意、過失によらず実費弁償していただきます。
- (15) 指定緊急避難場所の指定
当施設が災害時の指定緊急避難場所として指定されていることから、状況によっては活動場所の変更等をお願いする場合があります。

Ⅲ 当施設でできる活動について

1 活動内容について（一部抜粋）

※掲載していないプログラムもありますので、詳細は、別冊「活動プログラム集」をご参照ください。

※「活動プログラム集」は当所ホームページからダウンロード(PDF形式)できます。

ホームページ <http://www.cf.city.hiroshima.jp/yagai-ac/>

活動名	予約	活動内容	活動時間
野外炊飯		・施設内に4か所の炊飯場があります。 ・炊飯用なべ、皿、包丁等の物品を無料で貸し出します（ 要申込み ）。食材は持ち込みです。 ・工夫次第で、色々なメニューができます。	2～4時間
登山(牛頭山)		・宿泊棟から頂上(689m)まで約2km、片道約1時間で山頂へ着きます。見晴らしの良いときは、宮島を始めとした瀬戸内海の美しい島々を望むことができます。	2～4時間
フィールドワーク		・施設内を歩きながら、コースを回ったりポイントを探したりしながら活動します。 (トレッキング、オリエンテーリング、ウオークラリー、グリーンアドベンチャー等)	1～2時間
キャンプファイヤー(CF)		・施設内に8か所のファイヤー場があります。 ・まき、台木、灯油の販売を行っています（ 要申込み ）。	約2時間
キャンドルのつどい		・体育館・研修室等でろうそくの炎・灯（あか）りを囲みながら交流を深めることができます。	約2時間
ディスクゴルフ(DG)	要電話予約	・フライングディスクを用いて、ゴールへ投げ入れる活動です。 宿泊棟コース、こども広場コース、体育館周辺コースの各7ホール、計21ホールあります。	約2時間
農業体験	要電話予約 こどもを含む団体のみ	・季節に応じ、植付け、収穫、除草等が体験できます。 活動に必要な農具は貸し出します。	30分～1時間
羊毛ボール作り(動物ふれあい)と きな粉作り	要電話予約 学校のみ	・講師の指導による羊やウサギ等の動物とのふれあい活動、羊毛ボール作りです。また、大豆を使ったきな粉作りを行います。	約2時間
牧場見学	要電話予約 (餌やりを希望時)	・牧場施設の見学及び家畜の観察（羊、ニワトリ、ウサギ等）ができます。	約1時間
クラフト	要電話予約	・竹はし、竹とんぼ、ブンブンごま、ウッドペンダント、紙ひこうき、組み合わせパズル、たたき染め、小枝クラフト、焼き杉等（ 要材料費 ）	30分～3時間
カプラ	要電話予約	・カプラ（木製のブロック）を使い、アイデア次第で、様々な形のものを作ることができ、創造力や集中力を養い、グループ内でのコミュニケーションも促進されます。	約2時間
モルック	要電話予約	・モルックを投げ、倒れたスキットルの内容によって得点を積み重ね、50点ピッタリになったチームが勝ちという活動です。屋内・屋外用がそれぞれあります。	1～3時間

- 予約が必要なプログラムは、6か月前の月の1日から先着順(休所日を除く)で受け付けます。その後、所定の申込用紙を提出してください。
- 野外炊飯場でバーベキューをすることはできますが、コンロ・炭等の用具は団体でご用意ください。詳しくは、炊飯場の利用方法(P12参照)をご覧ください。
- 農業体験は、職員が指導します。
- 羊毛ボール作り（動物ふれあい）ときな粉作りは、講師の指導がつきます。
- クラフトは、ご希望により職員が指導します。（ただし、作品によりますので、当施設にご確認ください。）
- 上記以外にも、星空観察、野鳥観察、ナイトウォーク、軽スポーツ、レクリエーションなど、工夫次第でいろいろな活動ができます。職員と打ち合わせの上、充実した活動をご計画ください。

2 施設概要

施 設	内 容		
宿泊棟A棟 (宿泊定員220人)	1階	研修室	めだか研修室(48人)
		便 所	男子・女子・身障者対応(各1)、男女共用(1)
		宿泊室	うしずの間(12人宿泊可)
		浴 室	男子・女子(各50人)
		その他	玄関ホール、ボイラー室、警備員室
	2階	研修室	とんぼ研修室(48人)
		便 所	男子(1)、女子(2)【洋式あり】
		宿泊室	10人部屋(8室)、12人部屋(1室)、4人用和室(1室)
		その他	リネン放送室、談話室、保健室(3人用)、洗面所
	3階	便 所	男子(2)、女子(1)【洋式あり】
		宿泊室	10人部屋(10室)、8人部屋(1室)、4人用和室(1室)
		その他	談話室、洗面所
宿泊棟B棟 (宿泊定員72人)	2階	便 所	女子(1)・身障者対応(1)
		宿泊室	8人部屋(4室)、指導員室(1室、4人宿泊可)
		その他	洗面所
	3階	便 所	男子(1)
		宿泊室	8人部屋(4室)、指導員室(1室、4人宿泊可)
西川ロッジ (宿泊定員20人)	平屋	便 所	男子・女子・身障者対応(各1)
		宿泊室	4人用和室(2室)、6人用和室(2室)
		炊事室	コンロ(5)、冷蔵庫(1)
		その他	温水シャワー室(身障者対応)、洗面所
メインロッジ (宿泊定員14人)	1階	ホール	90㎡(30人)、ピアノ有
		炊事室	コンロ(5)、冷蔵庫(1)
	2階	便 所	男子・女子(各1)
		宿泊室	5人用和室(2室)、4人用洋室(1室)
		浴 室	温水シャワー男子・女子(各6基ずつ)
第3キャンプ場ロッジ (宿泊定員10人)	平屋	その他	洗面所
		便 所	男女共用(1)
		宿泊室	10人用和室(1)
		浴 室	温水シャワー(1)
第1キャンプ場 (宿泊定員144人)		炊事室	コンロ(2)、冷蔵庫(1)、給湯器(1)
		常設テント	12人用(12張)
		炊飯場	かまど(12)、蛇口(18)、野外テーブル(12)
第2キャンプ場 (宿泊定員300人)	広 場		ファイヤー可
	常設テント		12人用(25張)
	炊飯場		かまど(24)、蛇口(20) 野外テーブル(炊飯場13、テント周辺25)
	便 所		男子・女子(各2)、身障者対応(1)
	その他		掲揚台、池

第3キャンプ場 (宿泊定員300人)	常設テント	12人用(25張)
	炊飯場	かまど(32)、蛇口(28) 野外テーブル(炊飯場16、テント周辺25)
	便 所	男子・女子(各3)、身障者対応(1)
	広 場	110m×77m、ファイヤー可 ソフトボール(広場の状況により可能)
	その他	掲揚台
ファイヤー場 P38キャンプ場テント/ファイヤー場配置図参照	F1→宿泊棟裏 F2→体育館前広場 F3→こども広場 F4→第1キャンプ場下 F5→第2キャンプ場池横広場 F6→第2炊飯場上 F7→第3炊飯場横広場 F8→3Cロッジ前	
中央炊飯場	炊飯場(かまど30、蛇口16) 野外テーブル(6) 炊飯用具貸出倉庫	
体育館 (広さ23m×33m)	屋内運動場 バレーボールコート:2、卓球:7、バスケットゴール:4、バドミントンコート:4 便所:男子・女子(各1)、倉庫、放送室 研修室(70人・ピアノ有)、体育館前広場、掲揚台	
研修棟 ＜受付＞	1階	研修室 研修室4(70人・ピアノ有)
		便 所 男子・女子(各1)、身障者対応(1)
		その他 所長室、事務室、保健室、宿直室、会議室、印刷室、ロビー、倉庫
	2階	研修室1(100人・ピアノ有・スクリーン) 研修室2(50人) 研修室3(50人)
		便 所 男子・女子(各1)、身障者対応(1)
		その他 資料室(農耕資料)、ロビー、倉庫
工作館 (定員100人)	工作室、機械室、指導員室、管理室、資材置場、倉庫、貸出物品 ※工作利用の場合の定員は、「活動プログラム集」を参照してください。	
食 堂 (定員300人)	食堂、厨房、食品庫、職員控室、ボイラー室、倉庫、給湯器	
中央広場	ファイヤー不可、ベンチ、あずまや 植栽…カイヅカイブキ、アメリカフウ、ツツジなど 水生植物…ショウブなど	
こども広場	ファイヤー可、多目的ステージ、キャンプフリーサイト(期間限定) あずまや2棟、便所(男、女、身障者対応)	
実習農場	サツマイモ、トウモロコシ、トマト、イチゴ、タマネギ、ジャガイモ、水稻など 見本園(4a)…果菜類、葉菜類 休憩所(190㎡)…便所:男子・女子・身障者対応(各1) 利用内容…植付け、除草、収穫などの農作業及び観察	
遊歩道(約7.5km)	あずまや、展望広場	
駐車場	バス(16台)、普通車(50台)、身障者用区画(1) 便所:男子・女子(各1)	

【資 料】

提出書類記入例…各書類は、当施設のホームページからダウンロードできます。

○ 使用許可申請書

★記入例を参考にして、書類を作成してください。

★この「使用許可申請書」は、申し込み後1週間以内に提出する。ただし、学校は利用日の1か月前までに提出する。

★学校の場合は、校長名

広島市青少年野外活動センター・こども村 使用許可申請書

(2022年4月改訂版)

申請先

公益財団法人 広島市文化財団理事長

係	主任	所長	許可番号
			許可年月日
			令和 年 月 日

次のとおり施設の使用を申請します。

使用の際は広島市青少年野外活動センター設置規則・同管理運営規程及び広島市こども村設置規則・同管理運営規程を遵守するとともに、職員の指示に従い施設を使用します。

令和 6 年 5 月 20 日

使用者名(学校・団体、グループ、ファミリー等の名称)		代表者 (ふりがな) うしず たろう 氏名 牛頭 太郎	
所在地 (〒 731 - 1444) 広島市安佐北区安佐町小河内5135 TEL (082) 835 - 1444		連絡担当者 (ふりがな) やかつ はなこ 氏名 野活 花子 TEL (082) 835 - 1444	
目的 ☒ 野外活動 ☐ レクリエーション ☐ クラブ・サークル活動 ☐ 指導者育成 ☐ 研修会・講習会 ☐ 農業体験・牧場見学 ☐ その他 ()			
期間 (入所) 令和 6 年 6 月 19 日 10 時 00 分		(退所) 令和 6 年 6 月 21 日 13 時 00 分	
		☒ 宿泊利用 (2)泊(3)日 ☐ 日帰り利用	
区分		小 人 大人(学生・一般等)	
		小学生 中学生 高校生 30歳以下 31歳以上	
★大人の年齢区分(30歳以下/31歳以上)は利用初日時点のものです。			
使用予定者の内訳	宿泊棟	1泊	男 61 女 60
	ロッジ	1泊	男 女
	キャンプ場	1泊	男 61 女 60
	炊飯場		
	農園・牧場		
	その他(登山・下見等)		
研修室等の利用について(該当の数字を○で囲んでください)		① 希望する ② 希望しない	
		精算担当者 集計照合者	

●申請者は太枠内に必ず記入して提出してください。

●受付と同時に承認したものとみなし、申請書に係る承認書は発行しません。ご希望の方はお申し出ください。

※ 記入上の注意・お願い(学校の場合)

★ 同行のカメラマンについては、許可申請や会計上は別の団体として扱います。但し、食事の申し込みや部屋割りは、学校と一体として考えていただきます。

○ 活動計画表

- ★他の業者(食堂への申し込み)等のジュースと重複して注文することがないように注意。
- ★ジュース1個が80円で予約注文が可。(果汁30%のオレンジ味がリング味)
- ★「晴れ(雨でない)のとき」「雨のとき」の両方について、記入する。場所は、希望する活動場所を記入する。実際に活動する場所については、提出後に当施設の職員(その月の担当職員)が調整します。
- ★宿泊棟およびテントに入ることができるのは、14:00以降。
- ★食堂が利用できるのは、宿泊棟利用日の夕食から。

令和5年度 活動計画表 (2024年4月 改訂)

団体名	記入者名	連絡先(Tel)
野活小学校	野活 花子	835-1444

★利用日の遅くとも1か月前までにご提出ください。

ディスクゴルフ、カブラ、インドアモルック、火おこし・まき割り、焼き杉、動物ふれあい体験、牧場見学、農業体験、クラフトは、事前に電話で予約してください。

幼児	小・中・高	一般	合計
人	121人	6人	127人

ジュース申し込み	オレンジ	128 (127+1(カメラマン)) 個
	リング	128 (127+1(カメラマン)) 個

※ オレンジ・リングとも、1個100円
※ 食事業者の提供するジュースとは内容・価格が違います。

生活時間		(第1日) 6月19日 水曜日				(第2日) 6月20日 木曜日				(第3日) 6月21日 金曜日			
		活動内容		場所		活動内容		場所		活動内容		場所	
		※		※		※		※		※		※	
6:00													
7:00						朝のつどい	3C炊飯場			朝のつどい	中止	体育館前広場	中止
7:30	朝食					朝食	3C炊飯場			朝食		食堂	
8:00	7:30~8:30												
9:00	活動					清掃・身辺整理	3C			身辺整理		(荷)とんぼ	
10:00						移動	(荷)研4	(荷)体育館					
10:30													
11:00		入所式		研修室1	研1	オリエンテーリング	スポーツ	子ども広場 (スタート・ゴール)	体育館	選択プログラム・竹はし作り・ディスクゴルフ		工作館 DGコース	
12:00		グリーンウオーク		(荷)研1						VTR			研1
12:30	昼食												
13:00	12:00~	食堂弁当		子ども広場	研1					昼食		食堂	
14:00		移動		3Cへ		食堂弁当		子ども広場	体育館	退所式		研修室1	研1
15:00	活動			3C		スタンプ練習		子ども広場 研1	体育館 体研				
★翌日の入室も、同様です。				3C炊飯場		入室		宿泊棟					
16:00						身辺整理							
17:00						夕食		食堂					
18:00	入浴												
18:30	17:00~18:30												
19:00						入浴		浴室					
20:00													
21:00	入浴	ナイトウオーク	フリー	3C周辺	テント内	キャンプファイヤー	キャンドルのつどい	F1	体育館				
21:30	10~3月												
22:00		班長会		3C炊飯場		班長会		とんぼ研修室					
宿泊場所		A棟2階全部、B210~213、うしずの間 (5/9) 確認											
		当施設職員と相互に確認した宿泊場所と確認した日付を記入してください。											

★宿泊が宿泊棟のみの利用で、炊飯をする場合も、予約が必要。

★弁当等の注文の重複に注意！

※宿泊棟への入室・テントへ入ることができるのは、14:00からです。また、退室・テントを出るのは、13:00までです。日帰りの利用や最終日の活動は、16:00までです。

※1か月前までに計画表の提出がない場合は、希望する活動場所が利用できない場合があります。

広島市青少年野外活動センター・子ども村

2024年 4月改訂

○ 食事申込書

★カメラマンが食事を必要とする場合、カメラマンを含む人数を記入する。

青少年野外活動センター・こども村
食 堂

食事申込書

■提出先

広島市青少年野外活動センター・こども村
TEL(082)835-1444 FAX(082)835-1445

■食事サービス/問合せ/お支払

東洋観光(株)グルメサービス【受託業者】
TEL (082) 234-3456〔電話受付〕月～金 9:00-17:00
FAX (082) 292-0010

* 提出先・期限⇒ 当所へ 遅くとも 利用日の1か月前まで【FAX可:(082)835-1445】

* 問合せ・相談・食数の変更・キャンセル⇒ グルメサービスへ 食数の変更・キャンセルは3日前(土・日・祝日を除く)の正午まで

申込者	申込日	6年 5月 2日	お支払い方法	(A) 食堂で現金払い B 後日銀行振込	
	名前 (団体名)	野活小学校		担当者	野活 花子 様
	住所 (請求先)	〒(731)-(1171) 広島市安佐北区安佐町小河内5135		TEL (082) 835 - 1444 FAX (082) 835 - 1445	

区 分		食堂でのお食事			食堂以外でのお食事			お届け(配達)	
		朝 食	昼 食	夕 食	弁 当			時間	場所
利用日		7:30～8:30	12:00～13:00	17:00～18:30	朝 弁当	昼 弁当	夕 弁当		
6月	19日	食	食	食	食	127 食	食	11:30	こども広場 (雨:研修棟)
6月	20日	食	食	127 食	食	127 食	食	11:30	こども広場 (雨:体育館)
6月	21日	127 食	127 食	食	食	食	食	:	
月	日	食	食	食	食	食	食	:	
月	日	食	食	食	食	食	食	:	

●確認事項

アレルギー対応食の希望	
(有) 8 人) ・ 無	
※いずれかを○で囲んでください。 ※「有」に○をされた場合は、希望する人数も記入してください。	
随 行 員 ※	(1) 人
※上記の注文個数のうち、カメラマン・運転手など会計を別にしたい場合のみ記入してください。	
●その他	
食事に関するご要望や、別途のご注文などがございましたら、この欄にお書きください(グルメサービスから直接、確認・連絡があります)。	
6月22日の夕食に野外炊飯の食材を希望 6月23日の朝食にホットドックの食材を希望	

●ご案内

- アレルギー有について記入された場合、グルメサービスから「アレルギー調査書」を別途送付しますので、利用日の3週間前までにご返送ください。なお、アレルギーの内容次第によっては対応出来かねますので、ご了承ください。
- キャンプ炊飯用食材や軽食類のご注文も承り配達します。(グルメサービスへ直接お問い合わせの上、ご注文ください)
- 食数の変更、キャンセルなどは、利用日の3日前(土日祝除く)の正午までにグルメサービスへご連絡ください。(キャンプ炊飯用食材は、ご利用の10日前の正午まで)
- 食堂が利用できるのは、宿泊棟・ロッジ入所日の夕食から退所日の昼食までです。(キャンプ場利用者は食堂の利用はできませんので、自炊されるか、もしくはお弁当をご注文ください)
食堂は8人以上の団体で利用可。弁当は10個以上で受付。
※その他、詳しくはグルメサービスまでお気軽にご相談ください。

受付確認欄 (当所及びグルメサービス記入)		
所の担当者	グルメサービス	食 堂
送信月日		

★会計を別にする場合に記入する。

★「アレルギー対策要望」や「炊飯用食材注文」を記入する。

→ 記入後、直接、グルメサービスと話(メニュー確認や注文等)をする。

★変更は3日前(土日祝を除く)正午までに、グルメサービスへ連絡をする。

★「記入忘れ」がないように。(記入された時刻までに用意します。)

令和6年度 物品貸出票

(5月 20日 申し込み) (2024年4月 改訂)
広島市青少年野外活動センター

団体名	野活小学校	127人	担当者	野活 花子	電話	835-1444
-----	-------	------	-----	-------	----	----------

炊飯用具		貸出日時	6月19日 13時00分	～ 返納日時	6月20日 10時00分
品 名		貸出希望個数	変 更 (/)	めやす	
食器(さら)		381		3枚／人	
炊飯用なべ(8合)		13		10人／個	
まな板 (貸出上限35枚／1炊飯場)	板状タイプ	7		1枚／班	
	シート状タイプ	6		1枚／班	
大なべ(13 ^{リットル})		13		10人／個	
やかん(5 ^{リットル})		13		10人／個	
バケツ(8 ^{リットル})		13		10人／個	
バット(角盆)		26		6人／個	
包丁		26		6人／本	
飯しゃもじ		13			
かなじゃくし(おたま)		13			
山なた(まきわり用)		3		必要最小限	
食器かご		13		10人／個	
手打ちうどんセット		13		10人／個	

炊飯・焼き杉用まき		めやす	1回の炊飯につき、 6～7人で1束程度	
日時	6月19日	6月20日	月 日	まき総数
朝	東	5		35 束
昼	東			
夕	30 束	東	東	
焼き杉用	5 束	東	東	5 束
計	35束	5束	束	40 束

焼き杉等で
使用する薪
の数を記入

ファイヤー材	
6月20日	
まき	15 束
台木	4 本
めやす 100人2時間で台木4本、まき15束	
灯油	1 リットル
めやす 多数のロード缶等を使用しない限り 1～2 リットル	
★ ファイヤーの準備で使用する「なた」は事務室でお貸します。	

その他当施設への要望事項

炊飯場

ファイヤー場

焼き杉

※職員記入欄につき記入しないでください。

- 申し込みされた物品は、
 - 炊飯用具→炊飯時までに**物品庫前**に取りに来てください。
 - 炊飯用まき→炊飯時までに**炊飯場**に置いておきます。
 - ファイヤー材→14:00以降に、ファイヤー場または付近に置いておきます。
- ※ 使用した炊飯用具は、物品庫前に返却してください(9:00～16:00)。
※ 貸出物品は、利用団体名を確認してください。
- この貸出票は必ずコピーをとり、物品受け取りの際に数量の確認用に使用してください。
- 炊飯終了後、余ったまき(最初の状態のまま)は返品できます。事務室までお知らせください。
- 灯油の容器(灯油が残ったままでも構いません)は使用後に事務室へ返却してください。なお、残った灯油分の返金はできません。

令和 6年度 活 動 申 込 書

(2024年4月 改訂)

団体名	担当者	連絡先(Tel)
野活小学校	野活 花子	095-1444

- ★ 遅くとも利用日の1か月前までに提出してください。
- ★ 以下の活動は、**事前に来所または電話での予約が必要です**
事前予約のない場合は、本申込書は無効とします。
- ★ 予約は、活動日(利用日)の6か月前の月初めから、先着順で受け付けています。
- 電話または、来所により予約をした後に提出してください。

クラフト (要事前予約)		◆職員による指導を要するプログラムの開始時刻 は、9:00(午前)、13:30(午後)以降です。 ◆クラフトは、以下の施設プログラム以外の指導・材料の準備は行いません。 【施設プログラム】 ・竹はし・竹とんぼ・ペンダント・紙ひこうき・組み合わせパズル ・ぶんぶんゴマ・たたき染め・小枝クラフト・焼き杉 ※紙ひこうき、ペンダント、組み合わせパズルについては、指導は行いません。 ◆工作館の利用は、原則一団体一作品(雨を想定したプログラム[雨プロ]の利用も含む) をお願いします。 ◆工作館以外の場所での利用については、材料の準備はしますが、原則指導は行いません。 ◆雨プロは、「竹はし」「竹とんぼ」「ぶんぶんゴマ」「紙ひこうき」「ペンダント」「組み合わせパズル」の5種類です。
作品名	竹はし	
実施日時	6月 21日(金) 9:30 ~12:00	
利用者数	小人 60 人 大人 3 人	
活動場所	工作館 ・ その他() ※100人まで	
指導	必要 ・ 不要	
材料	必要 ・ 不要	
活動は	晴天でも行う ・ 雨プロである	

火おこし・まき割り (要事前予約)	
実施内容	火おこし
実施日時	6月 20日(木) 13:30 ~15:30
利用者数	小人 121人 大人 6人
活動場所	炊飯場(10・20・30) ・ その他() ファイヤー場 () (1 2 3 4 5 6 7 8)
指導	必要 ・ 不要
器具希望数	20 セット

農業体験 (要事前予約)	
作業内容	さつまいも植え
実施日時	6月 19日(水) 10:30 ~11:30
利用者数	小人 121人 大人 6人
◆その年の農作物のでき具合や予約の状況によっては、収穫の時期や量が変わることがあります。 ◆イチゴの収穫体験は、必ずサツマイモの苗の植付とセットで行っていただきます。	

カ プ ラ (要事前予約)	
実施日時	6月 19日(水) 13:00 ~ 15:00
利用者数	小人 121人 大人 6 人
活動場所	研修室(1003 4) 部屋希望
器具希望数	10 セット (最大10セット)
活動は	晴天でも行う ・ 雨プロである

羊毛ボール作り(動物ふれあい)ときなこ作り(要事前予約)	
実施日時	6月21日(金) 9:30 ~11:30
利用者数	小人 35 人 大人 2 人
◆実施時間 (雨天時も実施) 9:30~11:30、13:30~15:30 ◆学校団体のみの専用プログラム ※最大40人程度	

モルック (要事前予約)	
実施日時	6月 19日(水) 13:00 ~ 15:00
利用者数	小人 121人 大人 6 人
活動は	・天候に関係なく ・ 晴天時のみ ・ 雨天時のみ
活動場所	子ども広場
器具希望数	屋外用 8 セット(最大8セット) 室内用 セット(最大8セット)

牧場見学 (餌やりを行う場合) (要事前予約)	
実施日時	月 日() : ~ :
利用者数	小人 人 大人 人
◆職員による指導はありません。	

ディスクゴルフ (要事前予約)	
実施日時	6月21日(金) 9:30 ~12:00
利用者数	小人 61 人 大人 3 人
◆職員による指導はありません。	

備 考 (要望などありましたらお書きください)	
----------------------------	--

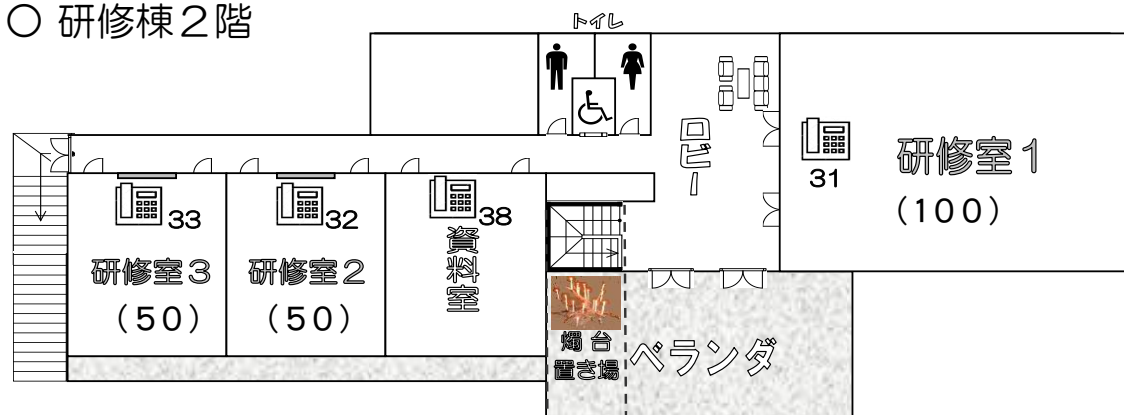
研修棟及び工作館見取図



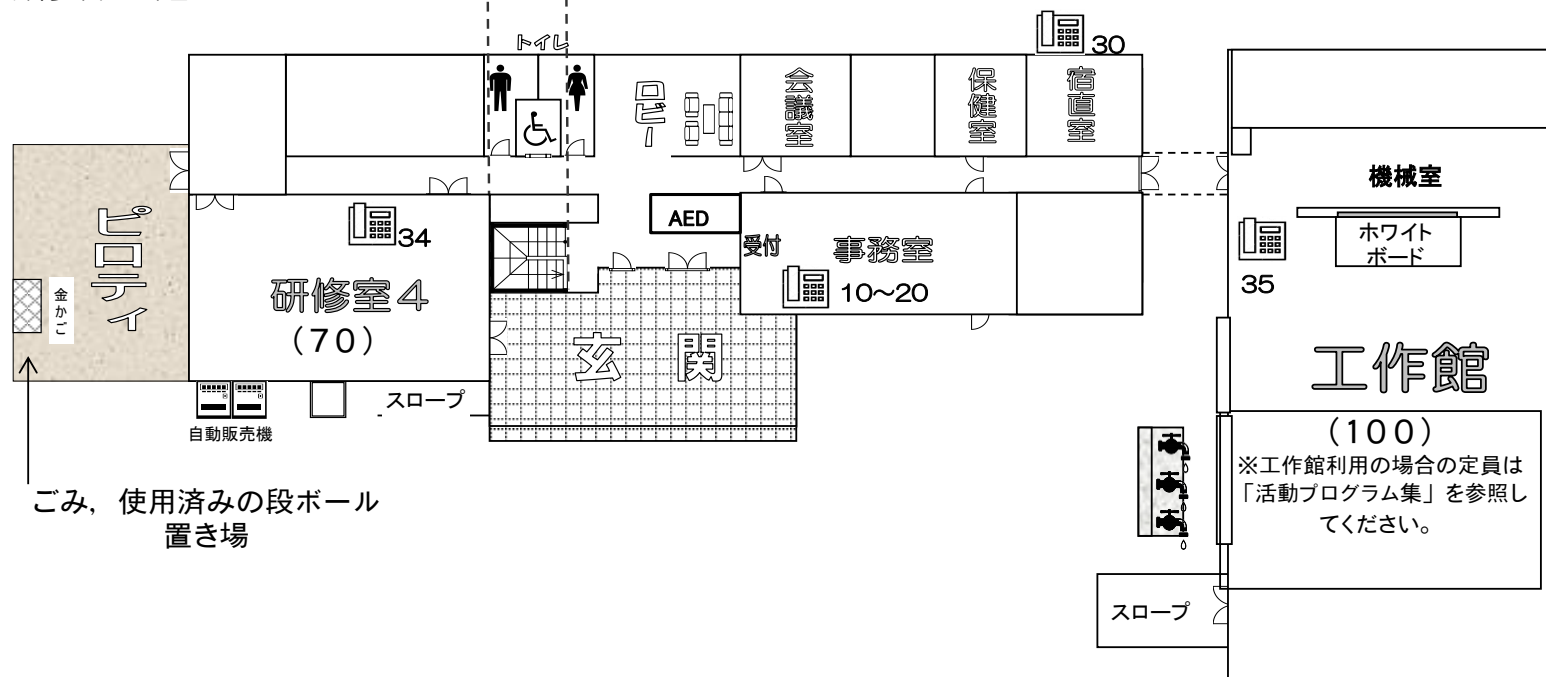
31 は、内線番号

(数字)は、収容可能人数のめやす

○ 研修棟2階



○ 研修棟1階



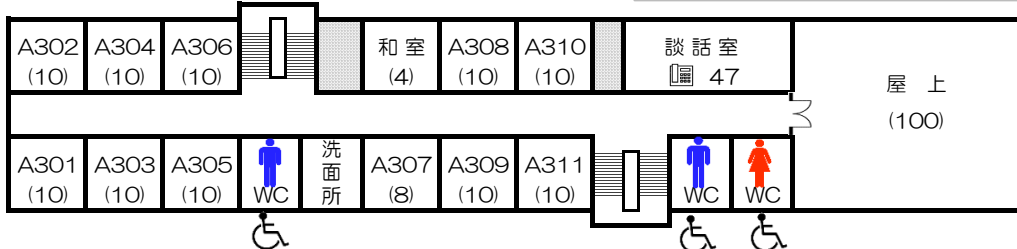
宿泊棟及び食堂見取図



は 内線電話設置場所

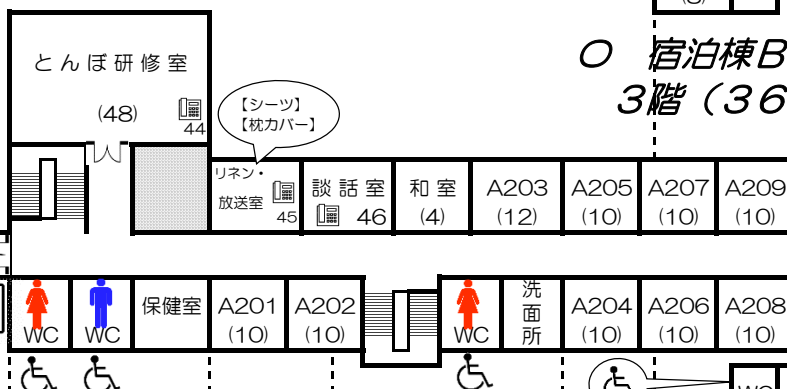
数字は 内線番号

○ 宿泊棟A棟 3階 (112人)

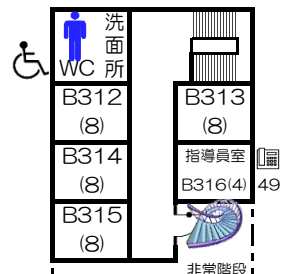


() は収容可能人数

○ 宿泊棟A棟 2階 (96人)



○ 宿泊棟B棟 3階 (36人)



3階

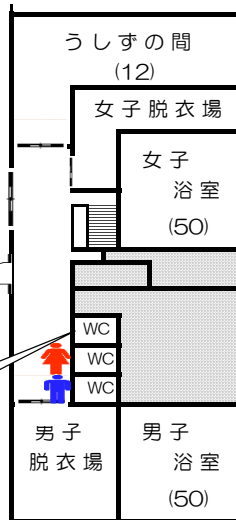
2階

1階

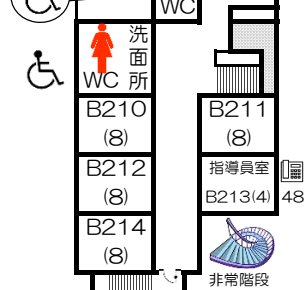
○ 宿泊棟A棟 1階 (12人)



宿泊棟ピロティ



○ 宿泊棟B棟 2階 (36人)

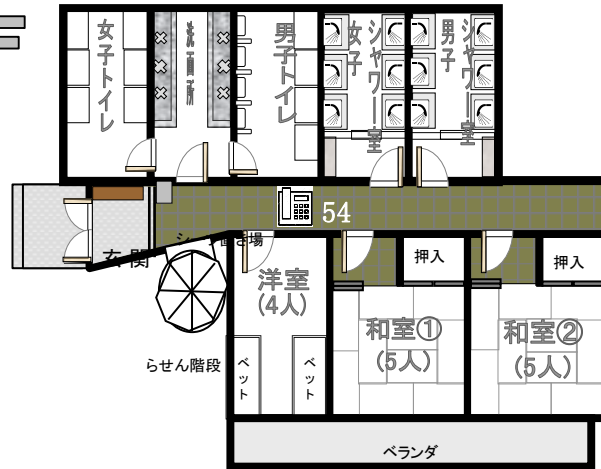


このマーク表示のないトイレも
手すりは付いています

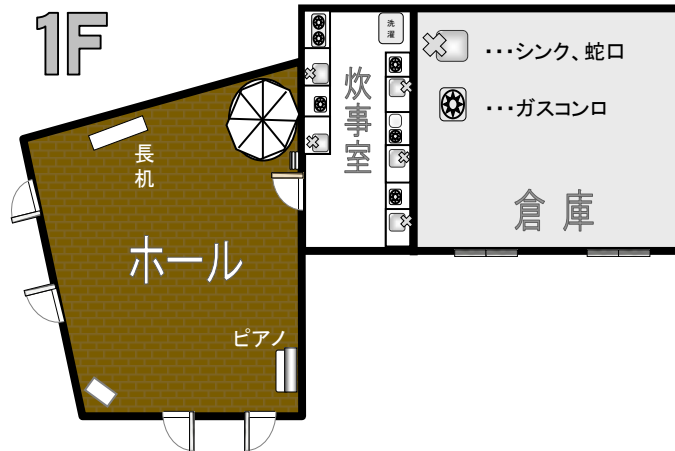
メインロッジ(ML)、西川ロッジ(NL)、第3キャンプ場ロッジ(3CL)見取図

メインロッジ

2F



1F

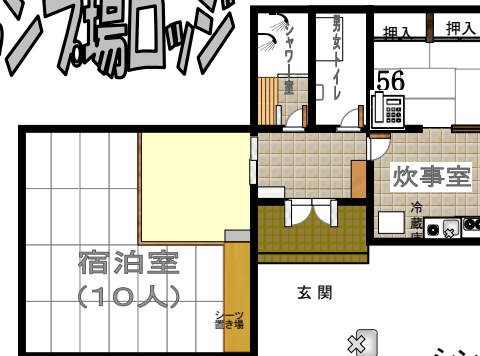


西川ロッジ



... シンク、蛇口
... コンロ

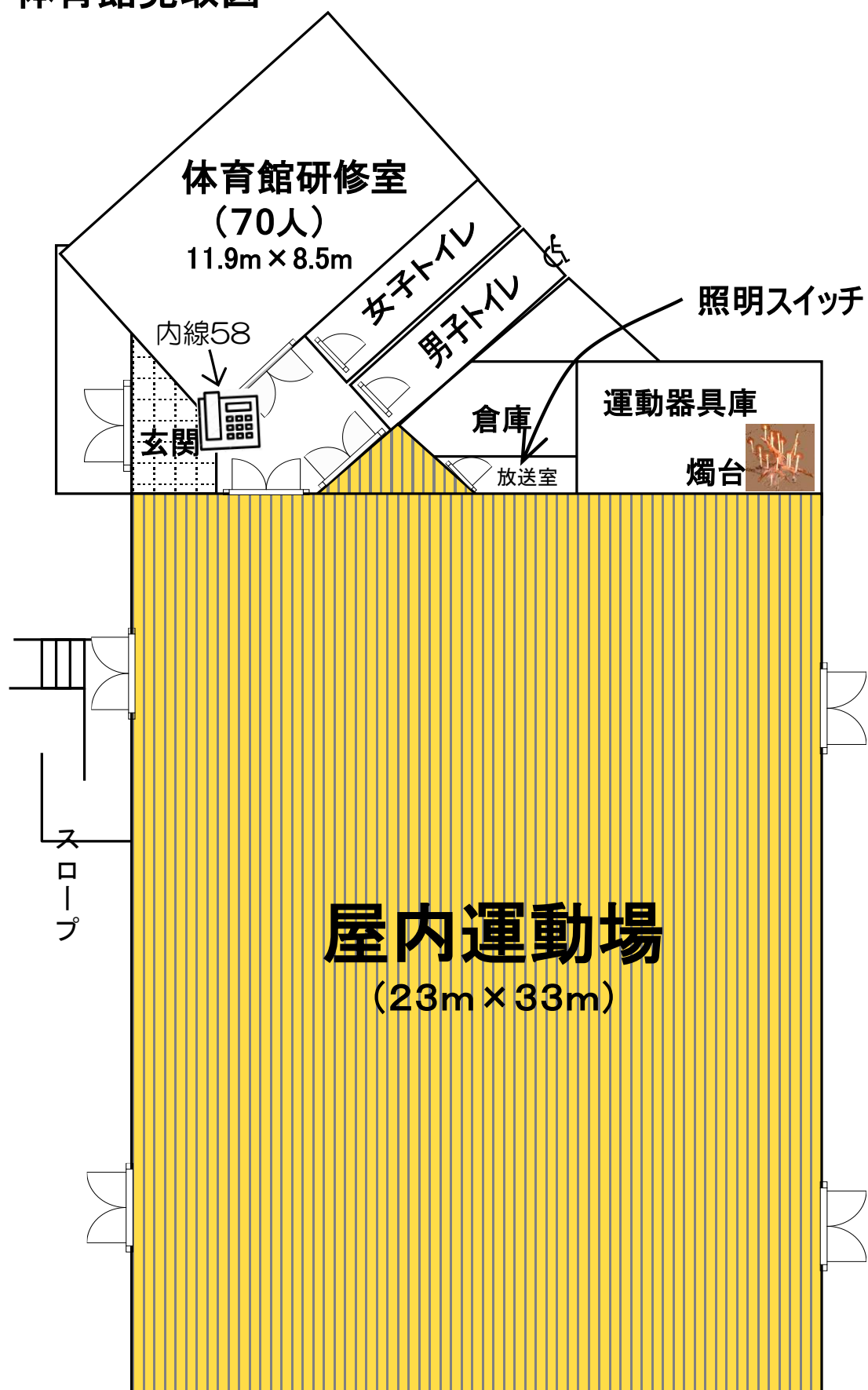
第3キャンプ場ロッジ



... シンク、蛇口

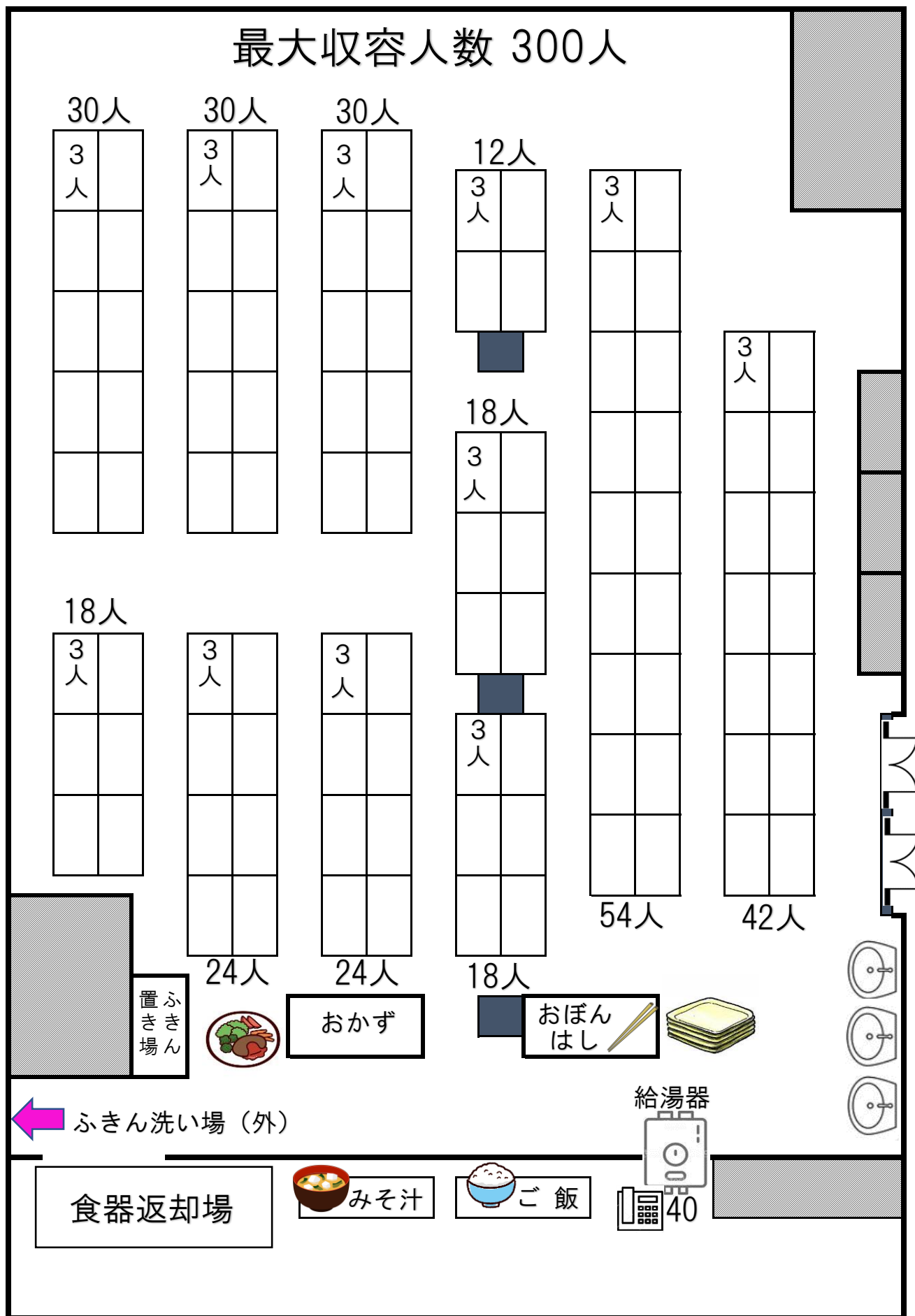
... コンロ

体育館見取図



食堂座席配置図

最大収容人数 300人



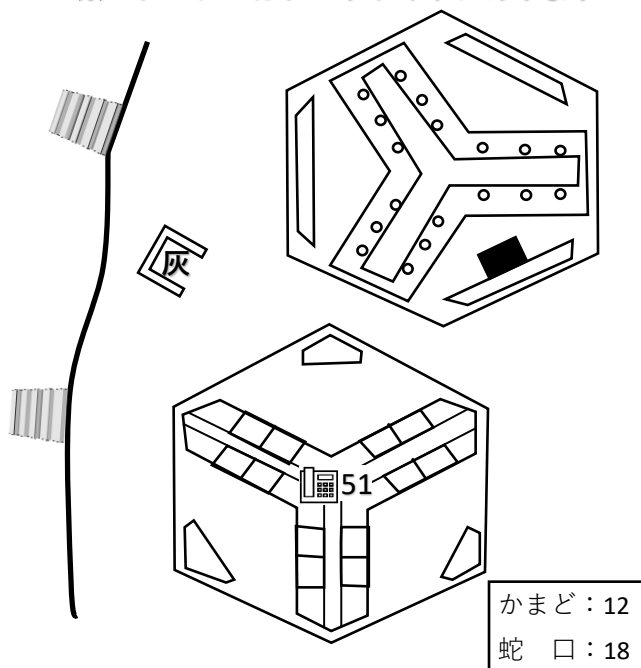
各炊飯場（1 C炊、2 C炊、3 C炊、中炊）見取図

炊飯場見取図

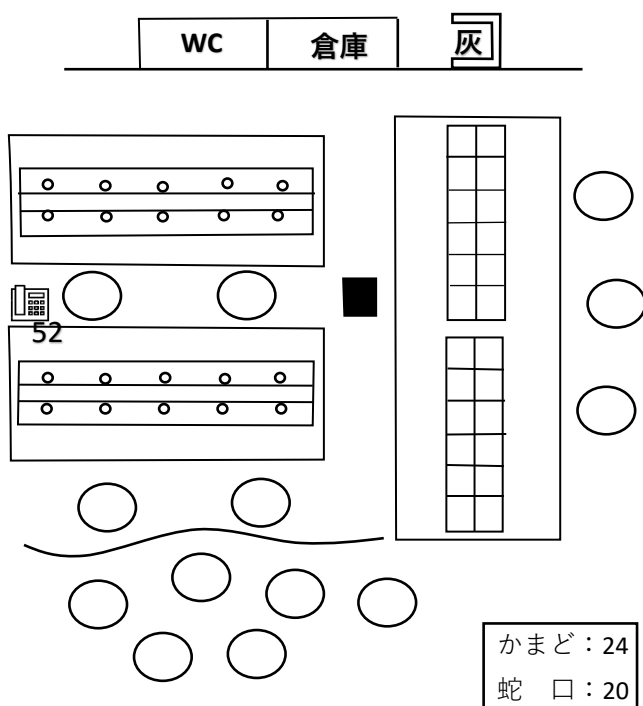
- 蛇口（水道）
- 冷蔵庫
- かまど
- 灰 灰捨て場（ブロック囲い内）
- テーブル

第1キャンプ場

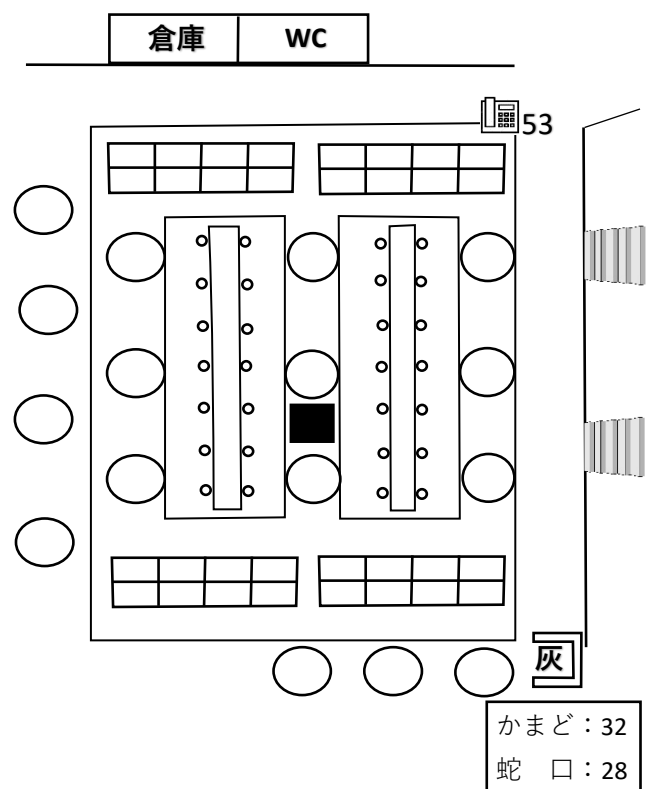
※ テーブルはテントサイトにあります



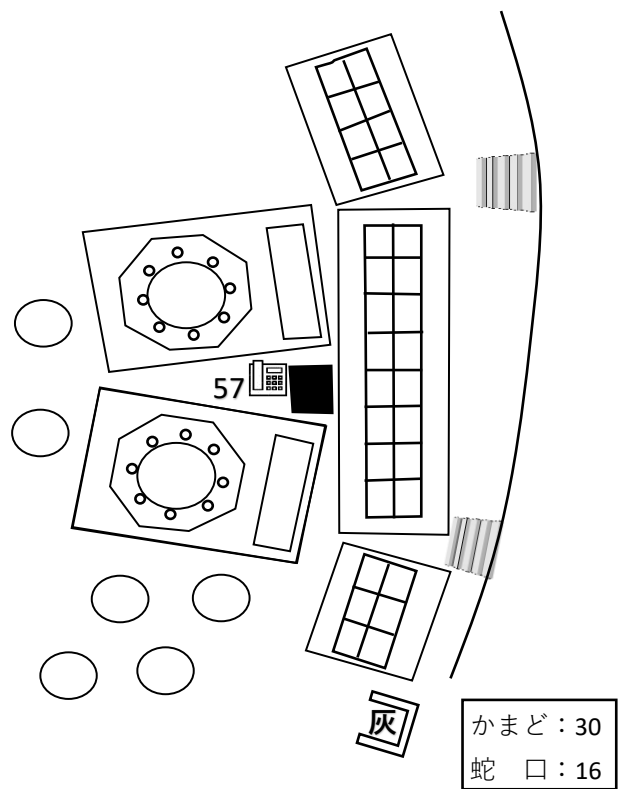
第2キャンプ場



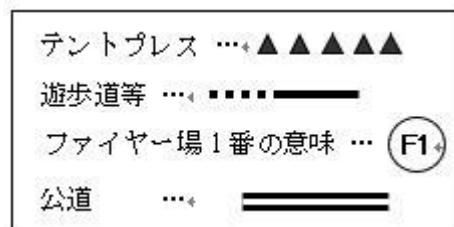
第3キャンプ場



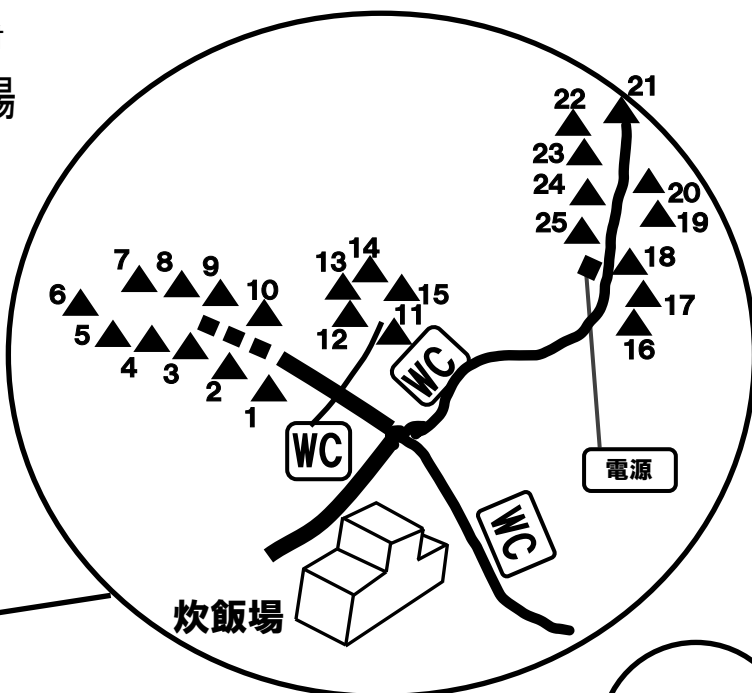
中央炊飯場



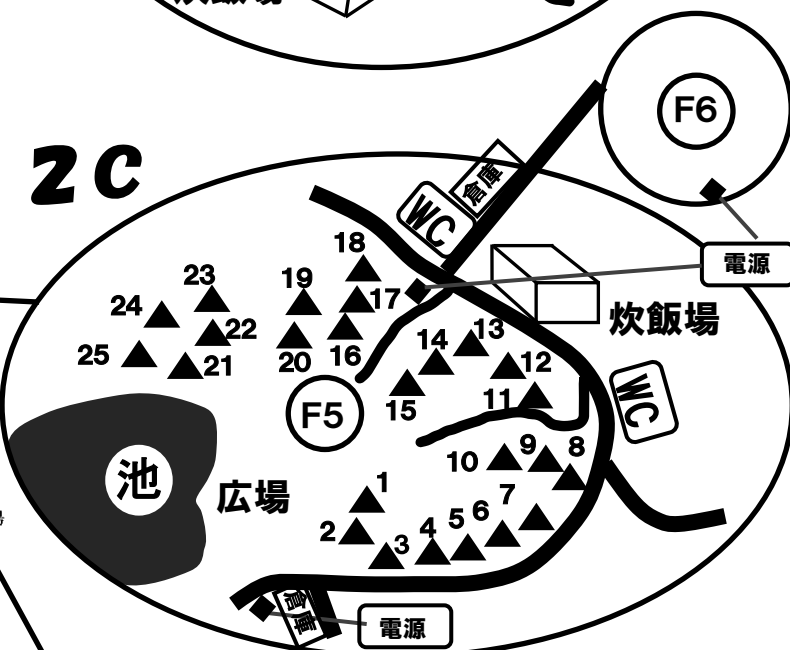
広島市青少年野外活動センター・こども村
キャンプ場テント／ファイヤー場
配置図



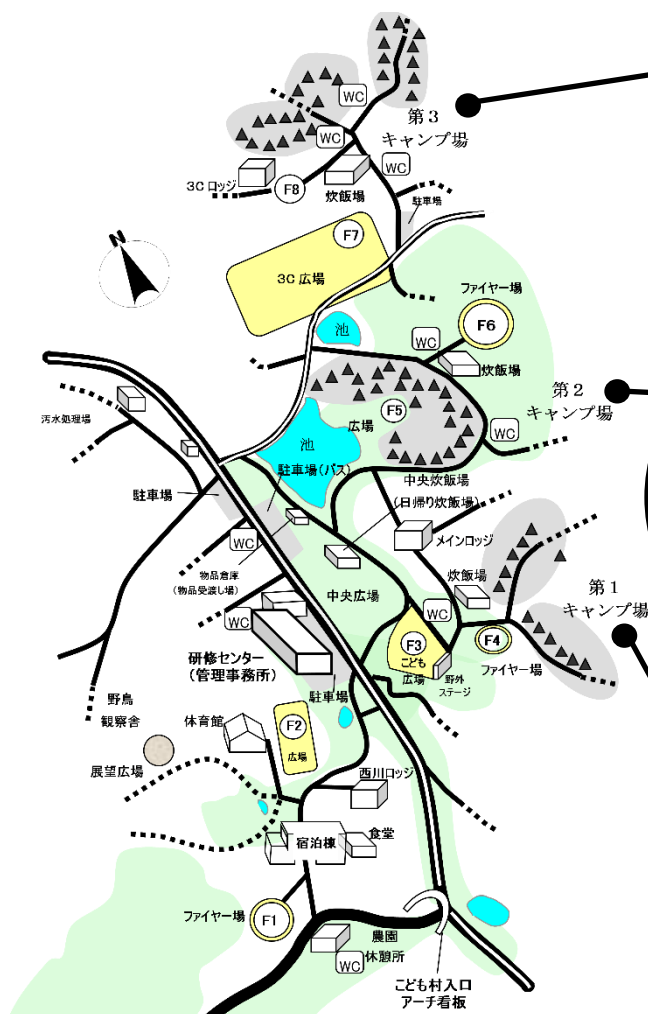
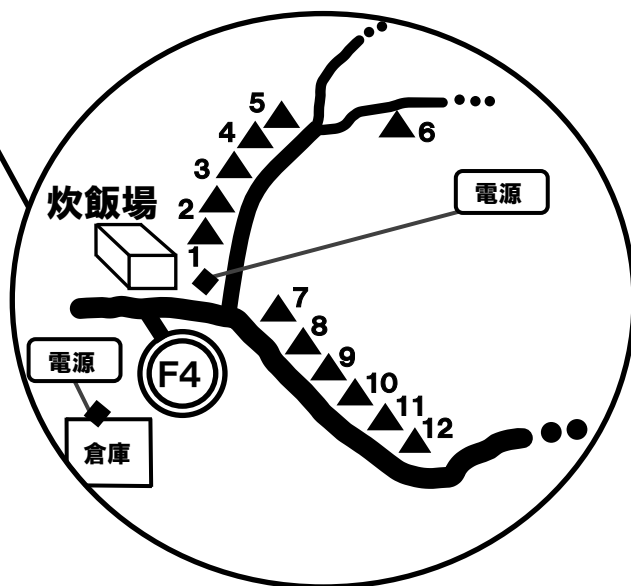
3C



2C



1C



屋外の電源コンセント

- ・キャンプ場WC（トイレ）の入口付近
 - ・◆印の各場所のほか
- 各炊飯場、こども広場、体育館周辺等に電源コンセントがあります。
詳しくは、当施設職員にお尋ねください。

沿 革

昭和46年(1971年) 青少年野外活動センター開所
昭和47年(1972年) 第1キャンプ場、メインロッジ竣工
昭和48年(1973年) 第2キャンプ場、西川ロッジ竣工
昭和49年(1974年) 第3キャンプ場、体育館竣工
昭和55年(1980年) こども村開所(農林水産省補助事業大型学童農園施設整備事業)
昭和57年(1982年) 宿泊B棟竣工
昭和62年(1987年) 延べ利用者100万人達成
平成 9年(1997年) (財)広島市青少年健全育成振興協会を解散
平成 9年(1997年) (財)広島市ひと・まちネットワーク所管に移行
平成23年(2011年) (財)広島市未来都市創造財団所管に移行
平成26年(2014年) 公益財団法人に移行、広島市文化財団に名称変更
令和 3年(2021年) 青少年野外活動センター開設50周年

発 行

令和6年(2024年)4月1日

公益財団法人広島市文化財団
広島市青少年野外活動センター・広島市こども村

〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内5135

TEL (082)835-1444

FAX (082)835-1445

<E-mail> yagai-ac@cf.city.hiroshima.jp

<URL> <http://www.cf.city.hiroshima.jp/yagai-ac/>